

# 特定非営利活動法人日本歯科保存学会 2022 年度評議員会・総会次第

(2022 年 6 月 16 日 於：東京都豊島区)

## 1. 開会の辞

## 2. 議長の選出 (石井信之 理事長)

## 3. 議事録署名人指名の件

## 4. 報告事項

### 1) 会務報告

- (1) 総務関係…………… P. 1～6
- (2) 財務関係…………… P. 7～8
- (3) 機関誌関係…………… P. 9～10

### 2) 各種委員会報告

- (1) 編集委員会…………… P. 11～12
- (2) 医療合理化委員会…………… P. 13～14
- (3) 教育問題委員会…………… P. 15
- (4) 学術委員会…………… P. 16
- (5) 学会のあり方委員会…………… P. 17～18
- (6) 学術用語委員会…………… P. 19～20
- (7) 渉外委員会…………… P. 21
- (8) 国際交流委員会…………… P. 22
- (9) 認定委員会…………… P. 23～28
- (10) 認定歯科衛生士審査委員会…………… P. 29～31
- (11) 広報委員会…………… P. 32
- (12) 表彰委員会…………… P. 33
- (13) 定款委員会…………… P. 34
- (14) 倫理委員会/COI委員会…………… P. 35
- (15) 選挙管理委員会…………… P. 36～37

### 3) その他の報告

- (1) 第155回秋季学術大会開催報告…………… P. 38
- (2) 今後の学術大会開催について…………… P. 39～43
- (3) 日本歯科医学会報告…………… P. 44
- (4) 日本歯科医学会連合報告…………… P. 45
- (5) 日本歯科専門医機構報告…………… P. 46
- (6) 日本学術会議報告……………
- (7) 日本歯学系学会協議会報告…………… P. 47
- (8) 歯学系学会社会保険委員会連合会報告……………

## 5. 協議事項

- 第1号議案 理事承認の件…………… P. 48
- 第2号議案 名誉会員承認の件…………… P. 49
- 第3号議案 定款変更の件…………… P. 50
- 第4号議案 指導医新規申請に関する専門医制度規則の改訂について…………… P. 51
- 第5号議案 2021年度事業報告の件…………… P. 52
- 第6号議案 2021年度決算報告の件(監査報告)…………… P. 53～69
- 第7号議案 2022年度事業計画(案)の件…………… P. 70
- 第8号議案 2022年度予算(案)の件…………… P. 71～76
- 第9号議案 次期理事長承認の件…………… P. 77

## 6. 閉会の辞

# 総務関係報告

## 1. 会員数について(2022年3月31日現在)

・会員総数：4,564人

内訳	名誉会員	79人	}	認定医	584人
	正会員	4,450人		専門医	745人
	(うち会費区分)			指導医	280人
	正会員A	4,263人			
	正会員B	187人			
	賛助会員	30社			
	外国会員	5人			

・会員動向(2021年4月1日～2022年3月31日)

新入会員 339人(正会員A 219人、正会員B 120人)

退会会員 220人(正会員A 196人、正会員B 22人、図書館2団体  
: 4年未納者105名は含まず)

※学会誌が今年度は全号電子ジャーナルとなったため図書館は退会・今後扱いなし

## 2. 会費納入率(2022年3月31日現在：正会員 4,450人)

完納者 3,759人 (2021年度納入率：84.5%)

未納者 691人

内訳	1年未納者(2021年)	356人
	2年未納者(2020年～2021年)	137人
	3年未納者(2019年～2021年)	93人
	4年未納者(2018年～2021年)	105人

## 3. 日本歯科医師会・日本歯科医学会・日本歯科医学会連合・日本歯科専門医機構 (2021年10月14日～2022年4月28日)

<日本歯科医師会>

2月21日・保険医療課より、都道府県歯科医師会社会保険担当理事連絡協議会(3月11日開催)の案内があり、細矢哲康 社会保険対策小委員会委員長出席と回答した。

<日本歯科医学会>

10月28日・第24回日本歯科医学会学術大会において公開された「2040年への歯科イノベーションロードマップ」動画も掲載した特設サイト「ミライのシカイ」を公開し

た事務連絡があった。

- 11月10日・専門・認定分科会会員数の照会が届き、9月末日現在の会員数を回答した。
- 12月 2日・厚生労働省・歯科医師国家試験出題基準改定案に関する意見募集があり、教育問題委員会に報告した。
- 12月13日・厚生労働省・歯科医師国家試験出題基準改定案に関する意見募集につき、教育問題委員会で意見を取り纏め、提出した。
- 12月20日・日本歯科医学会より、日本歯科医学会誌第41巻掲載の学会活動報告の執筆依頼が届き、石井信之理事長より入稿した。
- 1月18日・令和3年度厚生労働省医政局歯科保健課委託事業「歯科健康診査推進事業（地域における歯科口腔保健状況の分析・評価等）」への協力依頼（令和3年度歯科疾患実態調査が実施できなかったための代替事業）があり、全会員にメール配信した。
- 1月21日・日本歯科医学会より、令和4年度プロジェクト研究費公募用テーマの提案依頼が届き、全理事にメール配信した。
- 2月 2日・日本歯科医学会より、令和3年度日本歯科医学会会長賞受賞者の選考結果に関する文書が届いた。
- 2月 3日・日本歯科医学会第107回評議員会（2月18日開催）の出席者変更届を提出した。（北村知昭 評議員欠席、前田英史 予備評議員出席）
- 2月14日・令和4年度プロジェクト研究費公募用テーマにつき、理事から1件の応募があり提出した。
- ・令和3年度厚生労働省医政局歯科保健課委託事業「歯科健康診査推進事業（地域における歯科口腔保健状況の分析・評価等）」への協力についての礼状が届き、石井信之理事長に報告した。
- 2月28日・令和4年度診療報酬改定における個別改定項目（点数付き）・同改定に対する答申についての情報提供があり、石井信之理事長・二階堂徹医療合理化委員会委員長・細矢哲康社会保険対策小委員会委員長・瀧川智義歯保連委員に報告した。
- 3月 1日・日本歯科医学会第107回評議員会の決定事項の通知があった。
- 3月 9日・系統的レビューワークショップ（ランダム化比較試験のRisk of Biasについて）（5月13日開催）の案内が届き、林美加子う蝕治療ガイドライン作成小委員会委員長に報告した。
- 3月18日・日本歯科医師会からのアプリ掲載用の写真・図の提供依頼があり、全理事にメール配信し、提供頂いた写真を提出した。
- 3月14日・日本歯科医師会からの歯科用アマルガムに関する措置に関する照会があり、石井信之理事長・北村知昭副理事長・林美加子副理事長で対応した。
- 3月31日・令和5年版歯科医師国家試験出題基準が厚生労働省HP上で公開された旨の情報提供があり、石井信之理事長・奈良陽一郎教育問題委員会委員長に報告した。

- 4月 2日・令和4年度日本歯科医学会会長賞授賞者推薦が届き、常任理事会・理事会で検討することとした。
- ・第24回日本歯科医学会学術大会記念誌が届いた。
- 4月 9日・日本歯科医学会英文雑誌編集委員会より、令和4年度JDSR誌執筆者の推薦依頼があり、全理事に推薦依頼のメール配信をした。理事より推薦のあった1名を日本歯科医学会へ推薦した。
- 4月18日・石井信之理事長より「歯内療法領域に使用するホルムアルデヒド製剤の使用撤廃に向けた提言書」を提出した。
- 4月27日・上記提言書につき、4月25日付けで日本歯科医師会に情報提供したと、石井信之理事長に連絡があった。また、その旨を共同提案した4学会（日本口腔外科学会・日本小児歯科学会・日本老年歯科医学会・日本歯内療法学会）へ報告した。
- ・日本歯科医学会プロジェクト研究費令和2年度採択研究事業（研究代表者：高柴正悟理事）につき、総括成果報告書・収支報告書を提出した。
- 4月28日・日本歯科医学会より、令和4年度プロジェクト研究費申請公募の通知があり全理事にメール配信した。

#### <日本歯科医学会連合>

- 11月24日・公開シンポジウム(2022年1月13日開催)の案内（主催：日本学術会議 共催：日本歯科医学会連合）が届いた。
- 10月29日・10月29日の第16回医工連携オンラインピッチ開催中止の連絡があった。
- 1月14日・口腔9学会合同脱タバコ社会実現委員会からの「新型タバコ、特に加熱式タバコに関する注意喚起」の公表文書についての情報提供があった。
- 1月24日・臨床研究支援委員会フォーラム「臨床研究法を理解してより良い臨床研究を行うために」（3月13日開催）の案内があり、全理事にメール配信した。
- 2月 8日・企画広報委員会より、連合のHP掲載のための学会活動情報提供依頼があり、石井信之理事長・山本一世広報委員長に報告のうえ提出した。
- 2月14日・令和3年度第2回臨時社員総会(3月2日開催)があり、石井信之理事長出席と回答した。
- 2月16日・国際活動委員会より、留学経験のアンケートへの協力依頼があり、全会員にメール配信した。
- 2月17日・第5回大型医療研究推進フォーラム(3月5日開催)の案内があり、全理事にメール配信した。
- 3月 4日・臨床研究支援委員会フォーラム「臨床研究法を理解してより良い臨床研究を行うために」（3月13日開催）の案内があり、全会員にメール配信した。

<日本歯科専門医機構>

- 11月 4日・歯科保存専門医第12回意見交換会(11月11日開催)の案内があり、北村知昭副理事長・五十嵐勝認定委員長と回答した。
- 11月18日・第2回社員総会(メール会議)が開催され、石井信之理事長より承認と回答した。
- 11月19日・歯科保存専門医第13回意見交換会(12月16日開催)の案内があり、北村知昭副理事長・五十嵐勝認定委員長と回答した。
- 12月 2日・日本歯科専門医機構 「役員候補者選考会議」の委員候補者に関する意見伺いがあり、石井信之理事長に報告した。
- 12月10日・11月17日に実施した第2回社員総会(メール会議)の議案「会費規程の改正」「丸川参議院議員の理事再就任」が承認された通知があり、石井信之理事長に報告した。
- 12月16日・歯科保存専門医第13回意見交換会が開催され、北村知昭副理事長・五十嵐勝認定委員長が出席した。
- 1月14日・アンケート調査依頼があり、石井信之理事長より回答した。
- 1月21日・事務局移転の挨拶状が届いた。
- 2月 3日・歯科保存専門医第14回意見交換会が開催され、北村知昭副理事長・五十嵐勝認定委員長が出席した。
- 2月 9日・令和3年度臨時社員総会(3月10日開催)の案内があり、北村知昭副理事長出席と回答した。
- 2月18日・役員候補者選考会議委員選出についての文書が届き、石井信之理事長・北村知昭副理事長に報告した。
- 2月25日・歯科保存専門医第15回意見交換会(3月24日開催)の案内があり、北村知昭副理事長・五十嵐勝認定委員長出席と回答した。
- ・役員候補者の推薦依頼があり、石井信之理事長より北村知昭副理事長を推薦した。
- 3月11日・3月10日に開催された令和3年度臨時社員総会(北村知昭副理事長出席)に関する文書が届き、石井信之理事長・北村知昭副理事長に報告した。
- 3月25日・3月10日に開催された令和3年度臨時社員総会(北村知昭副理事長出席)に関する文書が再度届き、石井信之理事長・北村知昭副理事長に報告した。
- 4月 5日・厚生労働省医政局総務課より発出の「広告が可能な医師等の専門性に関する資格名等について」の一部改正についての文書が届き、石井信之理事長・北村知昭副理事長に報告した。
- 4月19日・歯科保存専門医第16回意見交換会(5月12日開催)の案内があり、北村知昭副理事長・五十嵐勝認定委員長出席と回答した。
- 4月23日・令和4年度臨時社員総会(5月10日開催)の案内があり、北村知昭副理事長出席と回答した。

4. 日本学術会議・日本歯学系学会協議会・歯学系学会社会保険委員会連合・文部科学省・厚生労働省(2021年10月14日～2022年4月28日)

<日本歯学系学会協議会>

12月17日・次期理事候補者推薦依頼があり、12月17日の常任理事会での協議を経て、石井信之理事長を推薦した。

4月 1日・理事選挙投票用紙が届き石井信之理事長が対応した。

4月28日・2022年度定時社員総会(6月21日開催)の案内があり、石井信之理事長出席と回答した。

<歯学系学会社会保険委員会連合>

11月20日・「歯保連試案2021」4冊が寄贈され、社会保険対策小委員会に報告した。

12月20日・日本睡眠歯科学会の新規加盟についてのメール協議が届き、石井信之理事長・二階堂徹医療合理化委員会委員長・細矢哲康社会保険対策小委員会委員長・瀧川智義歯保連委員に報告し、異議なしとした。

1月11日・日本睡眠歯科学会の新規加盟について承認された旨の連絡があり、上記4名の先生方に報告した。

3月 9日・2022-2023期役員(案)の協議依頼メールが届き、石井信之理事長・二階堂徹医療合理化委員会委員長・細矢哲康社会保険対策小委員会委員長・瀧川智義歯保連委員に報告のうえ、承認と回答した。

4月 5日・上記2022-2023期役員(案)が承認されたとの報告が届いた。

<厚生労働省>

3月14日・日本歯科医学会を通してフッ化物洗口マニュアル改正(案)の確認依頼があり、全理事にメール配信して意見を募り、回答先である厚生労働省医政局歯科保健課に回答した。

3月31日・歯科保健課より、上記フッ化物洗口マニュアル改正(案)への回答に対する礼状が届いた。

5. 役員会・委員会等の開催(2021年10月28日～2022年5月13日): Zoom開催

10月29日 優秀ポスター賞審査(第155回研究領域B)

11月 2日 優秀ポスター賞審査(第155回研究領域A)

11月10日 優秀ポスター賞審査(第155回研究領域C)

11月12日 第4回学会のあり方委員会

11月24日 第1回倫理委員会

11月26日 第2回学術委員会

12月 1日 第3回認定歯科衛生士審査委員会

12月17日 第3回常任理事会

- 12月21日 第2回倫理委員会
- 2月 9日 第2回選挙管理委員会(会場とZoom併催)
- 2月15日 第1回表彰委員会
- 2月21日 第4回認定歯科衛生士審査委員会
- 2月25日 第5回学会のあり方委員会
- 3月 4日 第4回常任理事会
- 3月13日・第2回認定委員会(会場とZoom併催)
- 3月25日・秋季学術大会(第157回)情報共有会議
- 4月 6日・第1回認定歯科衛生士審査委員会
- 5月13日・2021年度会計監査会議
- ・第1回常任理事会

#### 6. その他(2021年10月14日～2022年4月28日)

- 11月20日・歯科再生医療推進ネットワーク協議会より、第7回歯科再生医療推進ネットワーク協議会(2022年1月19日開催)の案内があった。同協議会の担当者は齋藤隆史学術委員長を届け出し、出席と回答した。
- 12月 3日・新聞クイントの「年頭企画・歯科人新年の一言」の執筆依頼が届き、石井信之理事長より寄稿した。
- 12月28日・株式会社ジーシーより、ジーシー創業100周年記念感謝の会(4月15日開催)の案内があり、石井信之理事長出席と回答した。
- 1月11日・1月19日開催の第7回歯科再生医療推進ネットワーク協議会につき、担当の齋藤隆史学術委員長に代わり、山本一世総務担当常任理事の代理出席を届け出た。
- 1月26日・日本有病者歯科医療学会より、創立30周年記念式典および祝賀会(3月20日開催)の案内があり、石井信之理事長出席と回答した。
- 1月28日・1月19日開催の第7回歯科再生医療推進ネットワーク協議会議事要旨の確認依頼が届き、齋藤隆史学術委員長・代理出席の山本一世総務担当常任理事に報告した。
- 2月25日・花王株式会社のオーラルケア製品公式 Twitterの掲載内容について確認依頼があり、石井信之理事長・山本一世広報委員長に報告した。
- 3月 4日・日本レーザー歯学会より、第34回総会・学術大会後援依頼が届き、常任理事会で協議のうえ、承諾と回答した。
- 3月15日・日本口腔インプラント学会より、50周年記念式典・記念祝賀会(5月22日開催)の案内があり、石井信之理事長出席と回答した。
  - ・日本デジタル歯科学会より、日本歯科医学会認定分科会加盟祝賀会(4月24日開催)の案内があり、石井信之理事長出席と回答した。
- 4月15日・愛知学院大学より、歯学部長・大学院歯学研究科交代の挨拶状が届いた。
- 4月27日・日本歯周病学会より、歯周治療のガイドライン2022が寄贈された。

日本歯科保存学会 2022年度月次決算書 (4月分)

(2022年4月1日～2022年4月30日)

歳入	項目	予算	4月次決算	執行率	備考
	前年度繰越金	68,237,349	68,237,349	100.0%	
年度会費	40,105,000	1,445,000	3.6%		
(1)入会金	350,000	13,000	3.7%	1,000円×13名	
(2)本年度会費	33,863,000	1,432,000	4.2%		
(3)過年度会費	3,692,000		0.0%		
(4)次年度会費	300,000		0.0%		
(5)賛助会費	1,900,000	0	0.0%		
論文掲載料	3,200,000	335,530	10.5%	65巻1号(256,930)、65巻2号(78,600)	
広告掲載料	2,000,000	0	0.0%		
認定歯科衛生士関連費	1,000,000	0	0.0%		
日歯学会助成金	990,000	0	0.0%		
雑収入	5,000,000	420,281	8.4%	銀行利息(56)、損保ジャパン集金事務費(420,225)	
小計	52,295,000	2,200,811	4.2%		
合計	120,532,349	70,438,160	58.4%		

歳出	項目	予算	4月次決算	執行率	備考
	次年度春季学会費	2,500,000	0	0.0%	
次年度秋季学会費	3,500,000	0	0.0%		
本年度秋季学会オンデマンド配信費	2,500,000				
抄録集印刷費	3,200,000	0	0.0%		
会誌印刷費	11,100,000	0	0.0%		
通信連絡費	1,200,000	18,905	1.6%	切手・はがき代(1,800)、TEL・FAX料(363)、宅配代(3,542)、振込料・手数料(3,300)、Zoom利用料(8,800)、メールマガジン配信(1,100)	
事務費	1,750,000	61,479	3.5%	資料印刷(61,479)	
日歯学会分担金	150,000	0	0.0%		
日歯学会連合会費	1,365,300	1,365,300	100.0%	2022年度	
日本歯科専門医機構年会費	300,000	300,000	100.0%	2022年度	
調査研究費	—	0	—		
認定衛生士関連費	2,200,000	4,190	0.2%	委員会開催(4,190)	
各種委員会費	9,000,000	0	0.0%		
事務局出張費	250,000	0	0.0%		
学会事務局委託費	6,270,000	522,500	8.3%	522,500×1ヵ月	
英文校閲費	660,000	0	0.0%		
国際交流費	1,200,000	0	0.0%		
表彰費	1,100,000	0	0.0%		
ホームページ運営費	615,000	44,000	7.2%	HP更新・管理費(44,000)	
市民公開フォーラム開催費	1,000,000	0	0.0%		
関連団体経費	300,000	0	0.0%		
法人運営費	1,900,000	100,029	5.3%	法人学会事務費(55,000)、源泉所得税(45,029)	
予備費	2,000,000	24,000	1.2%	慶弔費(24,000)	
仮払	—	0	—		
小計	54,060,300	2,440,403	4.5%		
積立金	会員データ構築費	500,000	0	0.0%	
特別事業費	1,000,000	0	0.0%		
次年度繰越金	64,972,049	67,997,757	104.7%	銀行(普1)1,461,037、銀行(普2)39,036,720、銀行(定)27,500,000	
合計	120,532,349	70,438,160	58.4%		



# 日本歯科保存学会 認定委員会 2022年度月次決算書(4月分)

(2022年4月1日～2022年4月30日)(単位:円)

歳入の部	項 目	予算	4月次決算	執行率	備 考
	前年度繰越金	23,206,468	23,206,468	100.0%	
	認定医申請料	700,000	0	0.0%	10,000円×0人
	認定医審査料	1,400,000	0	0.0%	20,000円×0人
	認定医登録料	700,000	0	0.0%	10,000円×0人
	専門医申請料	100,000	0	0.0%	10,000円×0人
	専門医審査料	300,000	0	0.0%	30,000円×0人
	専門医登録料	100,000	0	0.0%	10,000円×0人
	指導医申請料	100,000	0	0.0%	10,000円×0人
	指導医審査料	300,000	0	0.0%	30,000円×0人
	指導医登録料	100,000	0	0.0%	10,000円×0人
	認定医更新料	730,000	0	0.0%	10,000円×0人
	専門医更新料	1,010,000	10,000	1.0%	10,000円×1人
	指導医更新料	410,000	10,000	2.4%	10,000円×1人
	雑収入	3,000	0	0.0%	
小 計	5,953,000	20,000	0.3%		
合 計	29,159,468	23,226,468	79.7%		

歳出の部	項 目	予算	4月次決算	執行率	備 考
	会 議 費	1,300,000	0	0.0%	
	研 修 会 費	500,000	0	0.0%	
	事務印刷費	1,200,000	2,321	0.2%	資料作成費
	事務消耗品費	80,000	0	0.0%	
	通 信 費	400,000	2,431	0.6%	振込料、TEL・FAX代
	事務委託費	1,835,460	152,955	8.3%	152,955円×1ヶ月分
	認定委員会積立金	500,000	0	0.0%	
	予 備 費	100,000	0	0.0%	
	小 計	5,915,460	157,707	2.7%	
次月度繰越金	23,244,008	23,068,761	99.2%	銀行(普)1,284,167 郵振 21,784,594	
合 計	29,159,468	23,226,468	79.7%		

# 機 関 誌 関 係 報 告

(R3. 10. 28～R4. 6. 14)

## 学会誌の発行および編集状況

### 1) 第 64 巻 5 号の発行について

令和 3 年 10 月 31 日発行

〈掲載論文〉

総説：向井義晴先生（2021 年春季認定研修会）・梅田 誠先生

誌上シンポジウム（2021 年春季学術大会時シンポジウム）

一般投稿：5 編 [修復 (1), 歯内 (1), 歯周 (1), その他 (2)]

〈その他の掲載内容〉

春季学術大会大会長挨拶, 春季学術大会案内, 認定医申請のお知らせ, 指導医・専門医申請手続に関するお知らせ, 指導医・研修施設一覧, 学会賞・学術賞・奨励賞の募集について, 総目次, 投稿規程, 編集後記 (吉村篤利委員), 賛助会員名簿, 投稿票, 認定医制度規則・施行細則, 専門医制度規則・施行細則

### 2) 第 65 巻 1 号の発行について

令和 4 年 2 月 28 日発行

〈掲載論文〉

総説：佐野英彦先生

ミニレビュー：竹中彰治先生・水谷幸嗣先生

一般投稿：6 編 [修復 (3), 歯内 (1), 歯周 (2), その他 (0)]

〈その他の掲載内容〉

定款, 倫理規程, 役員・委員会名簿, 編集連絡委員名簿, 投稿規程, 投稿の手引き, 編集後記 (米田雅裕委員), 賛助会員名簿, 投稿票

### 3) 第 65 巻 2 号の編集について

令和 4 年 4 月 30 日発行

〈掲載論文〉

誌上シンポジウム（2021 年秋季学術大会時シンポジウム）：

一般投稿：6 編 [修復 (0), 歯内 (2), 歯周 (2), その他 (2)]

〈その他の掲載内容〉

秋季学術大会大会長挨拶, 秋季学術大会案内, 認定医申請のお知らせ, 指導医・専門医申請手続に関するお知らせ, 指導医・研修施設一覧, 指導医・専門医合格者一覧, 投稿規程, 編集後記 (武田克浩幹事), 賛助会員名簿, 投稿票, 認定医制度規則・施行細則, 専門医制度規則・施行細則

4) 第 65 卷 3 号の編集について

令和 4 年 6 月 30 日発行予定

〈掲載論文〉

総説：古市保志先生

一般投稿：3 編 [修復 (1), 歯内 (2), 歯周 (0), その他 (1)]

〈その他の掲載内容〉

投稿規程, 編集後記 (前田英史委員), 賛助会員名簿, 投稿票

5) 第 65 卷 4 号の編集について

令和 4 年 8 月 31 日発行予定

〈掲載予定論文〉

総説 2 編

一般投稿：なし

〈その他の掲載内容〉

学会賞・学術賞・奨励賞の募集について, 財務関係書類, 投稿規程, 編集後記 (北村和夫委員), 賛助会員名簿, 投稿票, 表彰制度規程・細則

6) “Operative Dentistry, Endodontology and Periodontology” 2 卷 1 号について

令和 4 年 12 月 31 日発行予定

〈掲載論文〉 ※締切は 9 月 15 日

2 編 [修復 (0), 歯内 (1), 歯周 (1), その他 (0)]

〈その他の掲載内容〉

投稿規程および投稿の手引き・奥付・広告 (和文)

# 編集委員会報告

(R3. 10. 28~R4. 6. 14)

## 1. 編集委員会および編集連絡委員会の開催状況

編集委員会（Zoom 会議）の開催

- ・令和 3（2021）年度 第 3 回編集委員会 2022 年 1 月 28 日（金）19:00~20:00

## 2. 学会誌の発行

- ・第 65 巻 2 号まで発行した。

## 3. 転載許諾

以下の記事の転載を許可した。（ ）内は転載先

- ・日本歯科保存学雑誌（52(5):411-418, 2009）中の 図 4（日本歯内療法学会誌）
- ・2018 年秋季学術大会プログラム及び講演抄録集 P172 「PCA 配合の有無によるダイアグノセント値」をグラフ化し引用（ライオン（株）、歯科衛生士ワンランクアップウェビナー2022）
- ・日本歯科保存学雑誌（61(2):96-103, 2018）中の Fig. 1 と Fig. 2（日本歯周病学会会誌）
- ・日本歯科保存学雑誌（48(2):272-277, 2018）中の 図 4（神奈川県健康医療局「今日から始める すき間ケア」）
- ・日本歯科保存学雑誌（60(6):273-281, 2017）中の Fig. 2、3、5 のグラフ（サンメディカル（株）、「MS コート Hys ブロックジェル」パンフレット及び Q&A）
- ・日本歯科保存学雑誌（27(4):874-884, 1984）中の図 1（（株）モリタ歯科医院向けカタログ）

以上

日本歯科保存学会

2022 年度春季理事会用資料

2022 年 5 月 31 日 作成

( 編集 委員会) 委員長名：柴 秀樹

報告事項：

- 1) Operative Dentistry, Endodontology and Periodontology (ODEP) 1 巻 1 号の構成について：著者名は First name, Family name の順に記載することとした。
- 2) ODEP の 2 巻 1 号から適用される英文版投稿の手引きについて：  
和文誌（日本歯科保存学雑誌）と英文誌（ODEP）の両雑誌において、著者貢献度（Statement of all authors' contributions）を論文に含めるかどうかを検討し、今回は見送ることとした。
- 3) ODEP の 2 巻 1 号以降、J-stage での受理後の早期公開について：早期公開には費用がかかるため、希望の有無を投稿者に確認することとした。
- 4) 投稿チェックリストの変更について：日本歯科保存学雑誌の投稿の手引きの改定に伴い、倫理関係の項目を修正・追加することとした。
- 5) 2022 年 1 月 28 日に、2021 年度第 3 回編集委員会を Zoom で開催した。2021 年度優秀論文賞について協議し、選出結果を表彰委員会に報告した。
- 6) 2022 年 4 月 1 日から 4 月 4 日まで、論文査読結果について協議した（メール審議）。
- 7) 65 巻 4 号の論文投稿がなかったため、理事宛にメールで次号以降の投稿をお願いした。

協議事項：

# 日本歯科保存学会

2022 年度春季理事会用資料

2022 年 5 月 30 日

## ( 医療合理化委員会 ) 委員長名： 二階堂徹

報告事項：

### < 診療報酬改定 >

- ・ 歯科医学会より、厚生労働省 医療技術評価・再評価ヒアリングに関する調査があり、昨年 10/1 に回答した。
- ・ 社会保険対策小委員会  
昨年 11/29 にオンライン会議にて、歯保連試案 2021 の内容確認ならびに 2024 年医療技術評価提案の作成に向けたタイムスケジュールの検討を行った。
- ・ 日本歯科医師会 都道府県歯科医師会社会保険担当理事連絡協議会 (2022 年 3 月 11 日開催)⇒細矢哲康 社会保険対策小委員会委員長 出席
- ・ 令和 4 年度診療報酬改定における個別改定項目 (点数付き) と同改定に対する答申⇒社会保険対策小委員会で共有

### < 歯保連 >

- ・ 日本睡眠歯科学会の新規加盟についてのメール協議  
⇒本年 1 月 11 日 承認との連絡
- ・ 歯保連試案 2021 歯科評論 1 月号に掲載
- ・ 2022-2023 期役員 (案) の協議依頼メール  
石井理事長・細矢社会保険対策小委員会委員長・瀧川歯保連委員  
と確認のうえ承認と回答 →4 月 5 日に承認との連絡 →資料 1 役員一覧

### < う蝕治療ガイドライン作成小委員会 >

- 1) 日本歯内療法学会と協働で「歯髄保護」に関する診療ガイドラインを作成中  
2022 年 6 月 18 日 (土) -19 日 (日) に東京の会議室で共同会議を開催予定
- 2) 根面う蝕の診療ガイドラインー非切削でのマネジメントー を作成中  
冊子での作成

協議事項：

なし

## 歯学系学会社会保険委員会連合

2022・2023年度（2022年4月1日～2024年3月31日）

### 役員

会 長	外木 守雄（日本口腔内科学会）
常任委員	太田 嘉英（（公社）日本口腔外科学会）
	五味 一博（（特非）日本歯周病学会）
	佐藤 裕二（（一社）日本老年歯科医学会）
	鈴木 広幸（（公社）日本小児歯科学会）
	山森 徹雄（（公社）日本補綴歯科学会）
監 事	今井 裕
	久光 久

（敬称略 50音順）

日本歯科保存学会

2022 年度春季理事会用資料

2022 年 5 月 26 日 作成

( 教育問題委員会 )

委員長名：奈良陽一郎

報告事項：

1. ホルムアルデヒド製剤の使用撤廃に向けた対応について  
日本歯科医学会に向けた本学会発出によるホルムアルデヒド製剤(FC、ペリオドン等)の使用撤廃に向けた方略の一つとして、それらの科学的根拠(文献リスト)について3月4日開催の常任理事会へ上程し、審議を経て、承認を得た。  
なお、協議の結果、当該根拠資料のタイトルは「歯内療法に用いるホルムアルデヒド製剤による生体への悪影響に関する根拠(ホルムアルデヒドの一般的事項を含む)」に改称し、石井理事長に対しPDFデータを提出した。
2. 卒前卒後に活用できる修復・歯内・歯周統合型実習模型の作製に向けた対応について
  - (1) “模型実習および課題等に関するアンケート”について、2021年12月17日(金)17:00までを回答期限に、「臨床実習開始前」版は日本歯科保存学会・理事に向け、「診療参加型臨床実習期間中」版は各大学の臨床実習統括責任者に向け、「歯科医師臨床研修期間中」版は歯科医師臨床研修統括責任者に向け回答依頼を図った。
  - (2) 3月4日開催の常任理事会における報告と内容承認を得た“模型実習および課題等に関するアンケート結果”について、「臨床実習開始前」版は日本歯科保存学会・理事に向け、「診療参加型臨床実習期間中」版は全国の歯科大学・大学歯学部臨床実習統括責任者をはじめとする回答者に向け、3月9日に配信した。また、「歯科医師臨床研修期間中」版は回答者歯科医師臨床研修統括責任者を含む回答者に向け、3月8日に配信を図った。
3. 新規会員獲得も見据えた研修歯科医を対象とする出張講義やCE(Continue Education)コース策定に向けた対応について  
「診療参加型臨床実習期間中」「歯科医師臨床研修期間中」版アンケートに設定した設問への回答に基づき、有意義なコース策定に向け検討を始める。

協議事項： なし



日本歯科保存学会

2022 年度春季理事会用資料

2022 年 6 月 2 日作成

( 学術 委員会) 委員長名：齋藤隆史

報告事項：

- 1) 2021 年 11 月 26 日に開催した委員会で、  
2022 年度秋季学術大会時に Google Form を活用したアンケートを取り、  
2024 年度春季学術大会の学会主導型シンポジウムに反映させることとなり、  
具体的なアンケート内容を作成
- 2) 日本歯科医学会 令和 2 年度プロジェクト研究費採択課題  
テーマ A 研究代表者：高柴 正悟 先生  
「患者自身が管理する PHR を活用した安全安心な歯科医療環境の構築」  
⇒収支報告書と総括成果報告書を、4 月 27 日に歯科医学会へ提出。
- 3) 日本歯科医学会 令和 4 年度プロジェクト研究費公募依頼があり、  
理事へ配信 ⇒1 件の応募があり、歯科医学会へ提出

研究題名「with/post コロナ社会における安心・安全な感染症の迅速診断」

<研究代表者>

足立哲也 京都府立医科大学

<研究分担者>

柴 秀樹 広島大学

金村成智 京都府立医科大学

山本俊郎 京都府立医科大学

應原一久 広島大学

Giuseppe Pezzotti 京都工芸繊維大学

松田 修 京都府立医科大学

泊 直宏 京都市産業技術研究所

塩見昌平 京都市産業技術研究所

山本佳宏 京都市産業技術研究所

- 4) 市民公開フォーラムについては、開催方法を継続検討中

協議事項：

2022 年度秋季学術大会(第 157 回大会)学会主導型プログラム案について

## (学会のあり方 委員会) 委員長名：前田英史

報告事項：

◆2021 年 11 月 12 日第 4 回学会あり方委員会開催 オンデマンド配信について協議  
⇒11 月 22 日に第 157 回秋季学術大会大会長の高柴正悟先生との Zoom 会談

◆2022 年 2 月 25 日第 5 回学会あり方委員会 Zoom 開催

学会のあり方委員会事業の進捗状況について報告

## 1. 会員数の増加策

1) 渉外委員会の新設（設立）

2) 日本歯科衛生士会との連携

① 日本歯科保存学会認定歯科衛生士（認定分野 B：カリオロジー）新設（設立）

② 認定歯科衛生士専門審査制度規則案・認定歯科衛生士専門審査制度細則案・認定歯科衛生士専門審査制度細則暫定制度案（設置）

③ 認定歯科衛生士審査委員会の設置（設置）

④ 理事・評議員枠の新設

日本歯科衛生士会会長および副会長の日本歯科保存学会理事就任  
（承認、2 名の理事設置にむけ進行中）

⑤ 学術大会での衛生士セッション（アカデミアと連携）の開催またはシンポジウムの共催の推進（認定歯科衛生士審査委員会にて、学術大会での常催で進行中）

## 3) 一般臨床医の参加

① 学術大会での臨床医セッション（アカデミアと連携）の開催

（承認、2023 年度の学術大会より、大会長主導で修復・歯内・歯周の 3 分野で活躍されている著名な開業医の先生によるセッションを開催する）

② 理事・評議員枠の新設

（承認、渉外委員会にて 2 名の理事選出に向け進行中）

## 4) 他学会との連携（学会主導型プログラムの活用）

① 日本歯内療法学会、日本接着歯学会、日本歯周病学会、日本歯科審美学会、日本臨床歯周病学会、日本レーザー歯学会、日本外傷歯学会、日本口腔衛生学会、（日本歯科理工学会）などとの連携。

（承認、2023 年度以降の学術大会において、年に 1 回秋季学術大会において、学会主導型プログラムを活用して開催する）

② 日本補綴歯科学会、日本口腔外科学会、日本外傷歯学会、日本口腔顔面痛学会などとの連携も検討する。

以上の学会との併催、あるいは相互往来（各学会での合同シンポジウムの開催など）

※ 4)-①を優先し、②は①の進捗等を鑑みて判断する

## 5) その他

① 学術大会開催時の託児所設置支援（事故時の対応などを含む）

（承認・R3 年度より、あり方委員会の予算に計上）

② 学会の週末開催の検討（2）および 3) の決定に基づく）

（主管校で柔軟に対応していただく）

③ オンデマンド配信の学会からの援助

(承認、2022 年度秋季学術大会より適用。ただし、コロナ禍での現地開催を行った場合に、現地参加ができない参加希望者を対象として実施する)

・配信するコンテンツ内容は、認定研修会、ランチョンセミナー、および単位認定に関わらない講演（特別講演・教育講演・シンポジウム等）とし、演者の賛同の元に配信を行う。

・実施後、アンケート調査を行い、運用方法や継続性について検討する。

※なお、2022 年度秋季学術大会では、高柴大会長より、本学会には、「システム構築・運営サポート費」のサポートを求められた。内容は以下の 5 項目である。

1. WEB 視聴システム構築費
2. WEB 視聴サイト管理費
3. 特別講演等のアップロード
4. システム問い合わせ対応
5. 受講証明発行システム

④ 会員によるセミナーやシンポジウムなどの機会の拡大（学術委員会との連携。検討事項）

⑤ プログラム委員会の若手会員（准教授・講師）による構成とシンポジウム講演などの機会を増やす（検討事項）

⑥ 会員が求めるプログラムのアンケート調査（学術委員会との連携。検討事項）

6) 長期計画案について確認

関係する委員会と強調して、上記計画の未完の目標の実行を図る。

ただし、現状に即して改変を実施する。

・第 1 次 5 カ年計画（※ 2021-2022 年度、下記**太字**の項目を具体化する）

- 1) **1)** ①②③**④⑤**、**3)** ①②、**4)** ①**の一部**、**5)** ①②**③④⑤⑥**

・第 2 次 5 カ年計画

- 4) ②

2. 2023 年度以降の学術大会における新規プログラム及び開催支援事業

◆令和 4 年 3 月 25 日 2022 年度日本歯科保存学会秋季学術大会(第 157 回)

情報共有会議 を開催し、下記の項目について確認を行った。

出席者：高柴正悟（大会長）、五十嵐勝（認定委員長）、斎藤隆史（学術委員長）、野杵由一郎（認定歯科衛生士審査委員長）、山本直史（準備委員長）、前田英史（学会あり方委員長）、杉井英樹（幹事）（敬称略）

1. オンデマンド配信のコンテンツと費用
2. 学会主導型プログラムの開催時刻およびアンケート調査
3. 認定研修会演者の担当分野
4. 認定歯科衛生士教育講演の演者の選出
5. 韓国保存学会との共催による日韓若手セッションおよび韓国招待講演の開催
6. 託児所設置
7. その他 大会長と学会との情報共有会の常設について

⇒学術大会準備情報共有会議の設置

協議事項：

(学術用語 委員会)

委員長名：古澤成博

報告事項：

- ・用語集の進捗について（別紙：スケジュール）

→新語の校正依頼

保存修復学用語集：5 月に本委員会による新規用語の解説の校正を実施。6 月に校正内容の整理を実施。

歯内療法学用語集：5 月に本委員会および日本歯内療学会学術委員会による新規用語の解説の校正を実施。6 月に校正内容の整理を実施。

協議事項：

特になし。

## 用語集の改訂スケジュール（案）

### 1. 2019年11月

「歯内療法学専門用語集」改訂（2023年3月）における歯内療学会との協議と医歯薬出版との連携

### 2. 2020年2月

歯内療学会へ依頼状を发出。

### 3. 2020年6月

「歯内療法学専門用語集」改訂（2023年3月）における新用語の提出を歯内療学会および保存学会の学術用語委員にお願いする。「保存修復学専門用語集」改訂も進める。

### 4. 2020年11月

「歯内療法学専門用語集」「保存修復学専門用語集」改訂（2023年3月）における新用語の提出されたものを選択、精査する。

### 5. 2021年6月

「歯内療法学専門用語集」改訂（2023年3月）における執筆要綱を作成し、新用語の解説等を歯内療学会と保存学会の関連講座（分野）にお願いする。「保存修復学専門用語集」については、保存学会の関連講座（分野）にお願いする。

### 6. 2021年11月

「歯内療法学専門用語集」改訂（2023年3月）における新規採得用語の原稿校正を歯内療学会および保存学会の学術用語委員に依頼する。「保存修復学専門用語集」について保存学会の学術用語委員にお願いする。

### 7. 2022年6月

「歯内療法学専門用語集」改訂（2023年3月）における新規採得用語について不要な用語の精査、原稿校正を歯内療学会および保存学会の学術用語委員に依頼する。「保存修復学専門用語集」については、保存学会の学術用語委員にお願いする。

### 8. 2022年10月

「歯内療法学専門用語集」改訂（2023年3月）における「巻頭のことば」を歯内療学会と保存学会の両理事長に依頼する。「保存修復学専門用語集」について保存学会の理事長にお願いする。

### 9. 2022年11月

「歯内療法学専門用語集」改訂（2023年3月）を歯内療学会と保存学会の両理事の意見を仰ぐ。「保存修復学専門用語集」について保存学会の理事に確認をいただく。

### 10. 2023年1月

「歯内療法学専門用語集」「保存修復学専門用語集」改訂（2023年3月）の最終稿確定

### 11. 2023年3月

「歯内療法学専門用語集」「保存修復学専門用語集」改訂版（2023年3月）上梓

※2018.10 理事会承認，2019.9 一部修正（常任理事会確認）

日本歯科保存学

2022 年度春季理事会用資料

2022 年 5 月 30 日作成

( 渉外委員会 )

委員長名： 坂上 竜資

報告事項：

(1) 2021 年 10 月 20 日に開催した第 2 回渉外委員会での協議内容に基づき、  
委員会内でアンケートを実施した。(11 月 30 日締切)

(2) 2021 年度秋季理事会にて、大学以外（臨床医）の理事 2 名選出について承認  
理事選定に当たっては、渉外委員会が候補者案を作り、  
学会のあり方委員会など協議

①日本歯科保存学会の発展に寄与できる方

②65 歳以下

③日本歯科保存学会専門医の資格はなくてもよい  
を条件として、委員に推薦依頼を実施し、検討中

協議事項：

なし

日本歯科保存学会

2022 年度春季理事会用資料

2022 年 6 月 2 日 作成

( 国際交流 委員会) 委員長名：宮崎真至

報告事項：

1. 大韓歯科保存学会関係

1) 2021 KACD Scientific Congress and 23<sup>rd</sup> KACD-JSCD Joint Scientific Meeting

日韓若手セッション 2021 年 11 月 11 日 18:00～開催

日本からは 3 名の、韓国からは 6 名の演者が講演。参加者は 61 名。

蓮池 聡 (日本大学歯学部歯科保存学第Ⅲ講座)

片桐さやか (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯周病学分野)

高見澤俊樹 (日本大学歯学日歯科保存学第Ⅰ講座)

2) 第 24 回日韓歯科保存学会学術大会：2022 年度秋季大会 (第 157 回) での開催

→大会校に日韓若手セッションおよび韓国招待講演のプログラムへの組み込み  
をお願いした

3) KACD の役員リスト (Nov. 2021~Nov. 2023)

2. 台湾牙體復形学会関係・トルコ歯科保存学会関係は、コロナのため進展なし。

協議事項：

なし

日本歯科保存学会

2022 年度総会用資料

2022 年 5 月 2 日作成

( 認定委員会) 委員長名： 五十嵐 勝

報告事項：

1. 3月13日（日）に2021年度第2回認定医・専門医試験を実施した。  
（新型コロナウイルスの感染状況によりオンラインで実施した。）  
認定医申請 19名（再受験含む）  
→筆記試験（多肢選択式客観試験）（受験ソフトとZoom併用で実施）  
専門医申請 7名  
→口頭試問（Zoomで実施）
2. 2022年度第1回認定医・専門医試験 9月に試験実施を予定 資料
3. 研修施設の更新について  
本学会の研修施設の大部分の74施設が、2022年3月末をもって認定期限。  
3月13日の委員会で確認後、認定証を発行した。
4. 第157回秋季大会時認定研修会講師選定について  
富士谷盛興 委員（修復学分野）にお願いすることとなった。

協議事項：

指導医新規申請に関する専門医制度規則の改訂について



## 認定医申請のお知らせ

下記の要領で2022年度第1回認定医認定審査を開催致します。認定医認定の審議を希望される先生は下記の要領で応募されますようお願いいたします。なお、研修単位管理システム（バーコードシステム）への登録が必須です。詳細は、学会HP（[http://www.hozon.or.jp/member/training\\_unit.html](http://www.hozon.or.jp/member/training_unit.html)）をご覧ください。

### 認定医試験のタイムスケジュール

2022年 6月1日（水）：申請受付開始

7月6日（水）：締め切り（消印有効）

7月下旬（予定）：申請書類審査会開催

9月上旬（予定）：筆記試験、提出症例の書類審査（東京での開催を予定。但し、新型コロナウイルス感染症の感染状況によってはオンラインでの実施の可能性あり）

### 認定医申請書類ならびに「しおり」について

学会HPよりダウンロードしてください。

※症例は、保存修復・歯内療法・歯周治療分野の中から、1症例を提出してください。

※2020年2月28日付けで保存修復症例については、様式およびしおりの「提出症例の要項」「症例報告に必要な口腔内写真・エックス線写真」に変更がありましたので、最新版をご確認ください。

※申請書類については、所定のフォーマットを使用してください（改変は不可）。

### 認定医申請料・受験料・登録料

認定医申請料：1万円

認定医受験料：2万円

認定医登録料：1万円

\*申請時には、申請料と受験料（計3万円）をお振り込み願います。

\*郵便局備え付けの郵便振替用紙（青色）にて下記の口座にお振り込み願います。

口座番号：00130-8-552710

加入者名：日本歯科保存学会認定医審議会

- ・詳細は本誌および学会HPに掲載の認定医制度規則・認定医制度施行細則をご参照ください。
- ・本会認定医制度および認定試験の最新情報については、そのつどホームページおよび本機関誌でお知らせしています。

2022年4月

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会 認定委員会

## 指導医・専門医申請手続に関するお知らせ

日本歯科保存学会 2022 年度第 1 回専門医試験を、下記の要領で実施いたします。詳細につきましては、本誌に同封の「本制度規則」をご参照ください。なお、研修単位管理システム（バーコードシステム）への登録が必須です。詳細は、学会 HP ([http://www.hozon.or.jp/member/training\\_unit.html](http://www.hozon.or.jp/member/training_unit.html)) をご覧ください。

指導医申請(専門医更新時に下記の条件を満たせば指導医の申請が可能です。指導医申請につきましては、原則として専門医更新時に同時に受け付けております。)

- ① 専門医の資格を得た後、10 年以上の日本歯科保存学会専門医歴を有し、その間に日本歯科保存学雑誌に 3 編以上の研究論文発表があり、認定委員会の推薦を経て理事会で承認を受けた者。
- ② 専門医の資格を得た後、5 年以上の日本歯科保存学会専門医歴を有し、その間に 5 編以上の研究論文の発表があり、認定委員会の推薦を経て理事会で承認を受けた者。研究論文のうち、2 編は日本歯科保存学雑誌に掲載され、そのうちの 1 編は筆頭著者であること(5 編すべて日本歯科保存学雑誌も可)。
- ③ 認定委員会の推薦を経て、理事会で承認を受けた者。

### 専門医申請

日本歯科保存学会会員歴、業績などにより必要とされる要件が申請者ごとに異なります。

詳細は制度規則第 2 章第 2 条をご参照ください。認定医資格登録後、3 年以上本会員である方が対象となります。(認定医番号 No.1~474 の方)

なお、申請要件である業績については、下記の専門医制度施行細則をご確認ください。

(研修施設において取得すべき業績)

第 15 条 研修施設において取得すべき業績は次の各号を満たすものであること

- (1) 研修施設において通算 5 年以上の認定研修を修了すること
- (2) 研究論文を 1 編以上日本歯科保存学雑誌に発表すること (共同著者可)

→入会から専門医申請までの業績

- (3) 本会学術大会で 1 回以上演者として発表を行うこと (共同発表可)

→認定医取得後から専門医申請までの業績

### 2022 年度第 1 回専門医試験実施要綱

2022 年 9 月上旬(予定)に東京で実施予定です。詳細は、学会 HP に掲載されている「専門医制度のしおり」をご参照ください。(但し、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、オンラインでの実施の可能性あり)

- ・ 2022 年度第 1 回指導医および専門医申請受付期間：2022 年 6 月 1 日～7 月 6 日 (消印有効)
- ・ 研修施設名、主任指導医名は後に記載してあります。

—以下、指導医・専門医申請ともに共通です—

- ・ 申請書類ならびに「しおり」について  
学会 HP よりダウンロードしてください。

※ 2020 年 2 月 28 日付けで保存修復症例については、様式および「提出症例の要項」「症例報告に必要な口腔内写真・エックス線写真」に変更がありましたので、最新版をご確認ください。

- ・申請料および審査料（計 4 万円）の振込先 ※指導医・専門医の申請・審査料はどちらも 4 万円です。  
郵便局備え付けの郵便振替用紙（青色）をご利用のうえ下記口座にお振込みください。

口座番号：00130-8-552710 加入者名：日本歯科保存学会認定医審議会

（注）郵便振替領収のコピーを申請用紙に必ず添付してください。

- ・申請書類送付先（本学会事務局内）

〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9（一財）口腔保健協会内 日本歯科保存学会認定委員会

- ・入会年月日および受験資格などの問い合わせ

本学会事務局へメール(gakkai5@kokuhoken.or.jp)またはFAX(03-3947-8341)にてお問い合わせください。

※なお、専門医および指導医資格を有された後は、HP に掲載されます。掲載を辞退される場合は、登録時に文書で申し出て頂くことになっております。

(2022年3月31日現在)

研修施設名	主任指導医名
北海道医療大学歯学部歯周歯内治療学分野	古市保志
北海道医療大学歯学部う蝕制御治療学分野	齋藤隆史
北海道医療大学病院総合歯科診療科	川上智史
北海道大学大学院歯学研究院口腔健康科学分野 歯科保存学教室	佐野英彦
北海道大学大学院歯学研究院口腔健康科学分野 歯周・歯内療法学教室	菅谷勉
岩手医科大学歯学部歯科保存学講座う蝕治療学分野	野田守
岩手医科大学歯学部歯科保存学講座歯周療法学分野	八重柏隆
東北大学大学院歯学研究科 エコロジー歯学講座歯内歯周治療学分野	山田聡
東北大学大学院歯学研究科エコロジー歯学講座歯科保存学分野	齋藤正寛
奥羽大学歯学部歯科保存学講座保存修復学分野	山田嘉重
奥羽大学歯学部歯科保存学講座歯周病学分野	高橋慶壮
奥羽大学歯学部歯科保存学講座歯内療法学分野	木村裕一
明海大学歯学部機能保存回復学講座保存治療学分野	横瀬敏志
明海大学歯学部口腔生物再生医工学講座歯周病学分野	申基喆
明海大学PDI浦安歯科診療所	
日本大学松戸歯学部保存修復学講座	平山聡司
日本大学松戸歯学部歯周治療学講座	小方頼昌
日本大学松戸歯学部歯内療法学講座	松島潔
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 口腔機能再構築講座う蝕制御学分野	島田康史
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 生体硬組織再生学講座歯周病学分野	
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 口腔機能再構築学講座歯髓生物学分野	興地隆史
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 包括診療歯科学講座総合診療歯科学分野	
東京歯科大学歯内療法学講座	古澤成博
東京歯科大学歯周病学講座	齋藤淳
東京歯科大学保存修復学講座	村松敬
東京歯科大学千葉歯科医療センター一般歯科系	
日本歯科大学生命歯学部歯科保存学講座	五十嵐勝
日本歯科大学生命歯学部接着歯科学講座	奈良陽一郎
日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座	沼部幸博
日本歯科大学附属病院総合診療科	北村和夫
日本大学歯学部保存学教室修復学講座	宮崎真至
日本大学歯学部保存学教室歯内療法学講座	武市収
日本大学歯学部保存学教室歯周病学講座	佐藤秀一
昭和大学歯学部歯科保存学講座美容歯科学部門	真鍋厚史
昭和大学歯学部歯科保存学講座歯内治療学部門	鈴木規元
昭和大学歯学部歯周病学講座	山本松男
昭和大学歯学部歯科保存学講座総合診療歯科学部門	長谷川篤司
神奈川歯科大学歯科保存学講座保存修復学分野	向井義晴
神奈川歯科大学歯科保存学講座歯内療法学分野	石井信之
神奈川歯科大学歯科保存学講座歯周病学分野	
鶴見大学歯学部保存修復学講座	山本雄嗣
鶴見大学歯学部歯内療法学講座	細矢哲康
鶴見大学歯学部歯周病学講座	五味一博
新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命科学専攻 口腔健康科学講座う蝕学分野	野杵由一郎

新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命科学専攻 摂食環境制御学講座歯周診断・再建学分野	北 島 佳代子
日本歯科大学新潟生命歯学部歯科保存学第1講座	新 海 航 一
日本歯科大学新潟生命歯学部歯科保存学第2講座	佐 藤 聡 聡
日本歯科大学新潟生命歯学部歯周病学講座	江 面 晃 晃
日本歯科大学新潟病院総合診療科	亀 山 敦 史
松本歯科大学歯科保存学講座 (修復)	増 田 宜 子
(歯内)	吉 成 伸 夫
(歯周)	二 階 堂 徹 徹
朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野歯冠修復学	河 野 哲 哲
朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野歯内療法学	
朝日大学歯学部口腔感染医療学講座歯周病学分野	富士谷 盛 興
愛知学院大学歯学部保存修復学講座	諸 富 孝 彦
愛知学院大学歯学部歯内治療学講座	三 谷 章 雄
愛知学院大学歯学部歯周病学講座	山 本 一 世
大阪歯科大学歯科保存学講座	前 田 博 史
大阪歯科大学口腔治療学講座	梅 田 誠 誠
大阪歯科大学歯周病学講座	林 美 加 子
大阪大学大学院歯学研究科口腔分子感染制御学講座 (歯科保存学教室)	村 上 伸 也
大阪大学大学院歯学研究科口腔分子免疫制御学講座 (口腔治療学教室)	野 崎 剛 徳
大阪大学歯学部附属病院口腔総合診療部	吉 山 昌 宏
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科生体機能再生・ 再建学講座歯科保存修復学分野	高 柴 正 悟
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻 病態機構学講座歯周病態学分野	鳥 井 康 弘
岡山大学病院総合歯科	柴 秀 樹 樹
広島大学大学院医系科学研究科歯髄生物学研究室	
広島大学大学院医系科学研究科歯周病態学研究室	保 坂 啓 一
徳島大学大学院医歯薬学研究部再生歯科治療学分野	湯 本 浩 通
徳島大学大学院医歯薬学研究部歯周歯内治療学分野	北 村 知 昭
九州歯科大学口腔機能学講座口腔保存治療学分野	中 島 啓 介
九州歯科大学口腔機能学講座歯周病学分野	西 村 英 紀
九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座 歯周病学研究分野	前 田 英 史
九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座 歯科保存学研究分野	和 田 尚 久
九州大学病院口腔総合診療科	阿 南 尚 久
福岡歯科大学口腔治療学講座歯科保存学分野	坂 上 竜 資
福岡歯科大学口腔治療学講座歯周病学分野	久 保 至 誠
長崎大学病院歯科系診療部門保存・補綴歯科虫歯治療室	吉 村 篤 利
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯周歯内治療学分野	吉 村 篤 利
長崎大学病院口腔管理センター	鶴 飼 孝 孝
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科先進治療科学専攻 顎顔面機能再建学講座歯科保存学分野	西 谷 佳 浩
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科先進治療科学専攻 顎顔面機能再建学講座歯周病学分野	野 口 和 行
京都府立医科大学附属病院歯科	金 村 成 智
兵庫医科大学病院歯科口腔外科	本 田 公 亮

## 日本歯科保存学会

2022 年度春季理事会用資料

2022 年 6 月 2 日作成

### (認定歯科衛生士審査委員会) 委員長名：野杵由一郎

2021 年 12 月 1 日に 2021 年度第 3 回委員会  
2022 年 2 月 21 日に 2021 年度第 4 回委員会  
2022 年 4 月 6 日に 2022 年度 第 1 回委員会を開催

- 1) 新委員：片岡あい子委員 春季理事会に上程予定
- 2) 学術大会時の歯科衛生士セッションの常時開催 3 月 4 日の常任理事会で確認  
⇒2022 年度の保存学会学術大会での歯科衛生士セッションプログラム  
156 回大会：教育講演（仲野先生、二川先生）  
157 回大会：教育講演（栗原先生）
- 3) 本認定制度の暫定運用期間について  
3 月 4 日の常任理事会にて、1 年延長の方針で承認
- 4) バッジのデザインについて検討 5 月 13 日の常任理事会での協議を経て、  
歯科衛生士会にデザイン案を提示
- 5) 日本歯科衛生学会 第 17 回学術大会 歯科保存学会・歯科衛生学会共同企画  
「う蝕予防管理～歯科衛生士として生涯にわたるアプローチのこれから～」  
演者：尾崎和美 委員  
→日本歯科衛生士会に研修単位対象として申請
- 6) 2021 年度認定歯科衛生士（う蝕予防管理）合格者 103 名のうち 2 名が登録辞退
- 7) 2022 年度う蝕予防管理認定歯科衛生士審査試験  
(別紙：申請手続きのお知らせ HP)  
※歯科衛生士会からの要請により、申請時に歯科衛生士会への入会を済ませていることを必須とすることになった。(入会手続き中は可)  
令和 4 年 9 月 11 日 (日)  
開催方法：前回と同じオンライン形式 運営側のみ東京集合  
※認定歯科衛生士のテキストブックを HP で一般公開(2021 年 12 月 1 日)  
(2021 年度は申請者に限定公開) このテキストをもとに試験を実施

#### 協議事項：

- 1) 認定歯科衛生士バッジの作成とデザインについて
- 2) 認定歯科衛生士専門審査制度施行細則暫定制度の改定  
暫定制度を 2 年から 3 年として、2023 年度も適用する (1 年延長)

## 2022年度認定歯科衛生士（う蝕予防管理）の申請手続きのお知らせ

2022年度認定歯科衛生士（う蝕予防管理）の審査を以下の要領で実施します。希望される方は以下の要領で申請をお願い致します。

なお、申請にあたっては、

- 日本歯科衛生士会の会員である必要があります。（入会手続き中は可）  
<日本歯科衛生士会・入会のご案内>
- 日本歯科保存学会は非会員でも推薦があれば申請は可能ですが、合格後入会する必要があります。

特定非営利活動法人日本歯科保存学会  
認定歯科衛生士審査委員会

<スケジュール>

申請期間：2022年6月17日（金）～7月15日（金） 必着

審査試験：2022年9月11日（日）を予定

→新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、オンラインでの試験を予定しています。

<申請書類> 以下ダウンロードをしてください。

【日本歯科保存学会会員の場合】

- 申請書 (114KB)

【日本歯科保存学会非会員の場合】

- 申請書 (114KB)
- 推薦書 (26KB)

昨年度2021年度とは異なり、申請にあたって、日本歯科衛生士会の会員である必要があります。  
(入会手続き中は可) ご注意ください。

### 日本歯科衛生士会会員で、日本歯科保存学会会員の場合の申請手順

研修単位の有無に関わらず（無条件に）申請資格を付与します。

- 申請にあたっては、日本歯科衛生士会への入会を済ませてください（入会手続き中は可）。
- 2022年6月17日（金）～7月15日（金）に申請書を提出してください。推薦書の提出は不要です。
- 申請時まで、日本歯科保存学会への入会手続きが完了していれば、研修単位の取得がなくても申請資格有と認定します。

### 日本歯科衛生士会会員で、日本歯科保存学会非会員の場合の申請手順

本学会理事・評議員、指導医・専門医による推薦が必要です。以下の推薦内規3項を条件に申請資格を付与します。

- 申請書および推薦書を2022年6月17日（金）～7月15日（金）にご提出ください。  
申請書と推薦書は、同時提出で差し支えありませんが、推薦資格を満たしていない場合には委員会よりご連絡します。
- 研修単位について：施行細則暫定制度の第4条（認定単位）において、「本会が主催する学術大会または研修会等への出席4単位以上を必要とする。」としておりますが、委員会認定のプログラム（歯科衛生士向け）開催が開催されたのが2021年度秋季学術大会（第155回）からと開催回数が少ないため、「日本歯科保存学会の学会活動」

の認定単位（学術大会参加）がなくても、臨床経験のみで13単位以上（5年勤務:15単位以上）であれば申請資格有と認定します。

臨床経験が3～4年の場合、2022年度春季学術大会（第156回）（委員会認定のプログラム（歯科衛生士向け）を開催予定）への参加と委員会認定のプログラムの受講を条件に申請を認めますが、参加しなかった場合には申請資格を取り消します。

- 非会員の推薦に関して

**【非会員についての推薦内規】**

1. 推薦はお一人につき歯科衛生士2名までとさせていただきます。  
（複数の役職を兼務されている場合も御一人2名までといたします。）
2. 被推薦歯科衛生士は2022年度認定歯科衛生士審査試験の申請・受験は必須です。
3. 申請にあたっては、日本歯科衛生士会への入会を済ませ（入会手続き中は可）、試験合格後は速やかに日本歯科保存学会への入会手続きをしてください。

**【推薦頂く歯科衛生士像について】**

厳密な内規はございません。概ね目指すべき、理想的なう蝕予防管理歯科衛生士とお考えください。以下をご参考にして頂ければ幸いです。

—対象となる被推薦歯科衛生士—

- 1) 歯科衛生士としての歯科診療の臨床経験が概ね3年以上、教育機関等での歯学教育経験が概ね3年以上、あるいは歯科関連の研修施設等における勤務経験が概ね3年以上である。
- 2) 1に加え、う蝕について、日々更新された広くて深い知識を有している。
- 3) 1に加え、う蝕治療およびう蝕予防管理を行う為の優れた技能と専門的知識を有している。
- 4) 1に加え、患者の口腔の管理および健康状態を長期間にわたり保持・増進できる能力を有している。
- 5) 1に加え、将来的にも積極的にう蝕、う蝕治療ならびにう蝕予防管理に取り組もうとするモチベーションを有している。

## 申請書の提出先について（会員・非会員共通）

事務局：

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9（一財）口腔保健協会内  
日本歯科保存学会 認定歯科衛生士審査委員会宛て  
※封筒に「認定歯科衛生士申請書」と明記してください。

## 審査試験について（会員・非会員共通）

- 申請書の審査を実施後、審査試験についてご案内します。  
審査試験は、上記のテキストをもとに実施します。
- 審査試験は、まず多肢選択問題（30問）を実施します。その後、必要に応じて、課題（レポート）を実施する場合があります。

## 合格後について

認定歯科衛生士（う蝕予防管理）は、日本歯科保存学会および日本歯科衛生士会の両会への入会が義務付けられています。

- 申請にあたり、日本歯科衛生士会への入会を済ませてください。（入会手続き中は可）
- 日本歯科保存学会非会員の場合は、合格後は速やかに入会手続きをお願い致します。  
（2022年11月末までを目途に入会手続きが必要です。）



日本歯科保存学会

2022 年度春季理事会用資料

2022 年 6 月 3 日作成

(広報委員会)

委員長名：山本一世

報告事項：

1) 主な HP 更新状況について

2021-11-01

日本歯科保存学雑誌第 64 巻 5 号発行

2021-11-19

2021 年度第 2 回認定医申請のお知らせ

指導医・専門医申請手続に関するお知らせ

2021-12-02

日本歯科保存学会 2022 年度春季学術大会（第 156 回）の Web サイト公開

2021-12-24

日本歯科保存学雑誌「投稿の手引き」の「倫理規程」改定版

2022 年度春季学術大会（第 156 回）の現地開催中止・Web 開催について

2022-01-06

次期理事長選挙のご案内

2022-01-07

英文誌「Operative Dentistry, Endodontology and Periodontology」

第 1 巻 1 号

2022-02-28

日本歯科保存学雑誌第 65 巻 1 号

2022-05-06

日本歯科保存学雑誌第 65 巻 2 号

2022-05-20

日本歯科保存学会 2022 年度秋季学術大会（第 157 回）大会長挨拶

日本歯科保存学会 2022 年度秋季学術大会（第 157 回）案内

2022 年度第 1 回認定医申請のお知らせ

指導医・専門医申請手続に関するお知らせ

役員ページ

2022-05-25

2022 年度認定歯科衛生士（う蝕予防管理）の申請手続のお知らせ

2022-06-01

2022 年度春季学術大会（第 156 回）抄録集

協議事項：

## 日本歯科保存学会

2022 年度春季理事会用資料

2022 年 6 月 2 日作成

### ( 表彰 委員会) 委員長名： 北村知昭

#### 報告事項：

1. 2021 年度秋季学術大会(第 155 回)の優秀ポスター賞の選考  
大会期間中にZoomにて実施  
2021年11月2日研究領域 A・10月29日 研究領域B・11月10日 研究領域C
  2. 2022 年度春季学術大会 (第 156 回) の優秀ポスター賞エントリー演題  
を確認し、対象演題とした。  
(研究領域A：2 演題、研究領域B：3 演題、研究領域C：2 演題)  
⇒2022年度春季学術大会(第156回)期間中にZoomでの本審査を予定
  3. 2022年2月15日(火)に表彰委員会を開催した。(Zoom)
    - ・2022年度学会賞・学術賞・奨励賞の受賞者を選考した。
    - ・今後のポスター賞の運用について協議を行った。

<委員長提案>学術大会の方法(現地開催・Web 開催)にかかわらず、  
選考審査自体は Zoom で実施することについて

<協議結果>

    - ・Zoom での選考が審査に適していることには同意するが、現段階で決定する必要はないという意見が大半。
    - ・現状の運用方法(学術大会が現地開催の時は現地で、Web 開催の時は Zoom で選考審査)で進めることで合意。
- ※優秀ポスター賞応募の不足は、2021 年度春季から実施している 3 領域の変更以前から生じている。その都度対応しているが限界があり、対策を検討予定。
4. 各賞の授賞式について  
春季大会が Web 開催となり、授賞式の開催ができないので、  
昨年度と同様に HP に受賞者ページを設けて代替とする。

#### 協議事項：

- ・2022 年度学会賞・学術賞・奨励賞授賞候補者の件
- ・年間優秀論文賞・優秀ポスター賞(2021 年度秋季学術大会)選考結果の件

## 日本歯科保存学会

2022 年度春季理事会用資料

2022 年 6 月 2 日 作成

### ( 定款 委員会) 委員長名： 北村知昭

日本歯科衛生士会会長および副会長本学会理事就任：2021 年度春季理事会で承認  
一般臨床医の理事枠 2 名の新設：2021 年度秋季理事会で承認

- ⇒ ・ 役員の構成と選出に関する規程（第 3 条 理事の委嘱）  
・ 定款（第 13 条（1）理事 60 名以上 80 名以内）  
の改定が必要

※理事の定数のみ、定款を変更する。

（現状の関係法に則した文言修正などの定款変更が必要かどうか、専門機関の  
公益総研の担当者に確認した。

修正箇所が多数におよび、定款の条文番号が変更になるため他の規則の修正作業  
も必要になることが判明。東京都からは、今後変更を検討してくださいとのコメ  
ントはあるかもしれないが指導が入る等は無いとのこと。他の規則との整合作業  
に時間がかかるので、今回は理事の定数のみ、定款を変更することとした。）

協議事項：

「役員の構成と選出に関する規程」および「定款」の改定案について

1. 定款変更案
  - ・ 第 3 章 第 13 条 第 1 項（理事数について）
  - ・ 第 8 章 第 62 条（貸借対照表の公告について）
2. 定款変更案(新旧対照表)
  - ：表に引き続き、変更点についての説明を付記しています。
3. 役員の構成と選出に関する規程(変更案)
  - ：2 ページ目に、変更点についての説明を付記しています。
4. 【参考】 渉外委員会規程：上記 3. の変更案の参考資料

日本歯科保存学会

2022 年度春季理事会用資料

2022 年 6 月 2 日 作成

( 倫理・COI 委員会) 委員長名：林美加子

報告事項：

第 1 回倫理委員会を 11 月 24 日（水）に Zoom 開催

「国内未承認・適応外使用医薬品・医療機器等を応用した症例発表に関する、  
学会誌投稿ならびに学会発表における対応について」を協議した。

第 2 回倫理委員会を 12 月 21 日（火）に Zoom 開催

症例報告と臨床研究の線引き

未承認薬・適用外使用薬剤に関わる「症例報告」の倫理判定基準の策定

「誰が審査するか」の確認

2022 年 4 月に稟議にて未承認薬および適用外使用薬剤に関わる「症例報告」の  
倫理判定基準について審議。

協議事項：

- ・ 日本歯科保存学会における未承認薬・適応外使用薬剤・機器に関わる  
症例報告について

日本歯科保存学会

2022 年度春季理事会用資料

2022 年 5 月 30 日作成

( 選挙管理委員会) 委員長名： 佐藤 聡

報告事項：

2021 年

10月27日 秋季理事会にて次期理事長候補者1名を選出する投票を実施

2022 年

1月12日 次期理事長選挙（理事・評議員に選挙投票用紙を発送）

1月31日 投票締め切り

2月 9日 選挙管理委員会を開催し、開票を実施

協議事項：

次期理事長選挙結果の件

## 特定非営利活動法人日本歯科保存学会 次期理事長選出スケジュール

(新理事長任期：2023年4月1日～2025年3月31日)

2021年 6月 9日	春季理事会にて次期理事長選出スケジュールの確認
2021年 6月 28日	選挙管理委員会による被選挙人の確認（被選挙人の定年調査）
2021年 7月 12日	⇒返送締切
2021年 7月 26日	選挙管理委員会による理事長被推薦者の選考 (被選挙人名簿を理事に郵送（被推薦者の指名）)
2021年 8月 18日	⇒返送締切
2021年 8月 31日	選挙管理委員会開催（被推薦者の集計） →推薦の集計結果を常任理事会に報告
2021年 9月 10日	常任理事会にて次期理事長候補者若干名選出（選出候補者） →常任理事会より選出候補者に承諾を得る
2021年 9月 17日	常任理事会より選挙管理委員会に選出過程の説明書を提出 →「選出過程説明書」を理事に郵送 選挙管理委員会より選出候補者へ所信表明の提出依頼
2021年 10月 1日	選出候補者より選挙管理委員会に所信表明を提出 →「所信表明」を理事に郵送
※秋季理事会での投票（オンライン投票）	
2021年 10月 27日	秋季理事会にて投票により次期理事長候補者1名を選出・承認 同日理事会前に選挙管理委員会開催 (投票方法の確認・投票用紙一式の最終確認)
2022年 1月 12日	次期理事長選挙（理事・評議員に選挙投票用紙発送）
2022年 1月 31日	投票締切日
2022年 2月 9日	選挙管理委員会（開票作業）
2022年 3月 4日	常任理事会に選挙結果上程

2022年 6月 15日、16日 次期理事長承認  
(理事会 6/15→評議員会・総会 6/16)

2022年 11月 9日、10日 次期執行部(常任理事・監事)承認  
(理事会 11/9→評議員会・総会 11/10(予定))

2023年 4月 1日 新執行部発足

**日本歯科保存学会2021年度秋季学術大会(第155回) 決算報告**

項 目	決算	備 考
参加登録		
事前登録 歯科医師区分	8,630,000	10,000 円 × 863 名
事前登録 歯科衛生士区分	140,000	5,000 円 × 28 名
当日登録 歯科医師区分	4,200,000	12,000 円 × 350 名
当日登録 歯科衛生士区分	120,000	6,000 円 × 20 名
Web展示料		
賛助会員	330,000	30,000 円 × 11 コマ
非賛助会員	100,000	50,000 円 × 2 コマ
広告掲載料		
賛助会員Web広告掲載料	210,000	30,000 円 × 7 社
非賛助会員Web広告掲載料	100,000	50,000 円 × 2 社
協賛金		
企業協賛	350,000	50,000 円 × 7 口
セミナー協賛	700,000	100,000 円 × 7 社
自己資金		
日本歯科保存学会	3,000,000	
日本歯科保存学会認定研修会	250,000	
雑収入	9	預金利息等
<b>[ 合 計 ]</b>	<b>18,130,009</b>	

**【支出の部】**

項 目	決算	備 考
< 事前準備諸経費 >		
広報/参加・演題登録関係費	2,050,000	JTBシステム・大会HP運営・業界団体広告宣伝費等
印刷物・製作関係費	1,181,977	ポスター・趣意書・各種封筒類
通信関係費	652,746	ポスター・趣意書・参加登録者宛プログラム発送等
雑役費	415,140	
<< 事前準備諸経費計 >>	4,299,863	
< 当日運営諸経費 >		
Web開催関係費	5,186,000	特設サイト構築費・配信関係費等
講師料および講演関係費・源泉徴収	1,368,738	講師料・記念品等
<< 当日運営諸経費計 >>	6,554,738	
< 事後処理関係費 >		
印刷物・製作関係費	11,480	御礼状等印刷費
通信関係費	21,248	事務通信費等
<< 事後処理関係費計 >>	32,728	
<b>学術大会支出小計</b>	<b>10,887,329</b>	
[ 事務委託費 ]	1,813,001	総収入の10%
[ 消費 税 ]	1,083,957	
<b>[ 合 計 ]</b>	<b>13,784,287</b>	学会本部返金 ¥4,345,722

## 究極の歯科保存治療

日本歯科保存学会 2022 年度秋季学術大会（第 157 回）大会長  
岡山大学学術研究院医歯薬学域 歯周病態学分野  
高柴 正悟



未曾有の新型コロナウイルス感染症の蔓延にとまどいながらも、すでに3年目を迎えた今、新しい生活スタイルを模索しているこの頃です。日本歯科保存学会会員の皆様も日々の臨床、教育、そして研究を確実に実施するためにご尽力されていることと察します。また、新しい歯科専門医制度へ日本歯科保存学会がどのように対応するのかと、気を揉まれているかたもおられるかと察します。

このたび、日本歯科保存学会 2022 年度秋季学術大会（第 157 回）を、私ども岡山大学学術研究院医歯薬学域歯周病態学分野が担当することになり、学術大会の新しい様式を模索しながら工夫を重ねてまいりました。現地参加とオンデマンド型オンライン参加という組合せにて、感染対策を講じながらも、日本歯科保存学会の活動を粛々と進め、学術大会の内容の充実を図ろうとしています。研修ポイントの取得も確実に、会員間の交流も盛んに、そして参加を容易にすることで会員数の増加も、と欲張った構成にしています。

歯科保存治療を楽しみながら、患者さんにはもちろんのこと歯科医療従事者にとっても有意義な歯科診療とするための工夫を、皆様と一緒に考えてみたいと思います。平均寿命が90歳に届くような高齢社会が迫っていますので、少子と人口減少の新時代となっても、実現可能な歯科医療を考える必要があります。特に歯科保存治療は、罹患者の多い口腔疾患の発症を予防し、大がかりな口腔リハビリテーション治療が必要な状態になる前の『未病』な状態を維持する役割があります。そのために、う蝕治療、歯内治療、そして歯周病治療の3分野が連合した歯科保存療法を、たとえ遠隔であっても展開できる仕組みや、口腔疾患の未病管理を実施できる仕組みなど、究極の歯科保存治療の夢を語っていただこうと思います。

本大会は、第24回日韓歯科保存学会学術大会を兼ねています。韓国からの招待講演、日韓研究者による若手発表セッションを企画していますので、日本歯科保存学会の国際化推進の一環と日本の若手研究者のステップアップの場となることを期待いたします。

なお、新型コロナウイルス感染の収束のためにもう少し時間が必要なわが国の状況ですので、残念ながら現地への参加者数を制限させていただきます。瀬戸内の秋の味覚を楽しみにしておられた皆様には、心よりお詫び申し上げます。皆様と社会の皆様のご健康を守るため、ご理解のほどよろしく願いたします。現地での大会開催については、できるかぎり感染防止対策を講じて皆様が安全・安心してご参加いただけるように配慮いたします。また、現地開催後のオンデマンド配信も用意しますので、多くの方にご参加いただけるように工夫いたします。ぜひ、こちらも積極的にご利用ください。

知恵を集める“吉備の国”岡山にて、皆様の積極的なご参加と活発なご交流を、心からお待ち申し上げます。



## 日本歯科保存学会 2022 年度秋季学術大会（第 157 回）案内

日本歯科保存学会 2022 年度秋季学術大会（第 157 回）/第 24 回日韓歯科保存学会学術大会は、2022 年 11 月 10 日（木）・11 日（金）、岡山県岡山市（担当校：岡山大学学術研究院医歯薬学域 歯周病態学分野、大会長：高柴正悟教授）において、下記のとおり開催（現地開催＜予定＞およびオンデマンド配信）することとなりました。多数の会員の皆様方の発表とご参加をお願い申し上げます。

2022 年 4 月  
特定非営利活動法人 日本歯科保存学会  
理事長 石井 信之

1. 会 期 2022 年 11 月 10 日（木）・11 日（金）
2. 会 場 岡山コンベンションセンター  
〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町 14 番 1 号  
TEL：086-214-1000  
本学術大会では、2022 年 11 月 22 日（火）正午～12 月 6 日（火）正午の期間、オンデマンド配信を予定しております。

### 3. 発表形式選択

下記、6 つの中から選択ください。

- ・一般発表（口演）
- ・一般発表（ポスター）
- ・一般発表（ポスター）※『優秀発表賞（優秀ポスター賞）』の選考対象（事前エントリー制）
- ・専門医症例発表（ポスター）※『専門医優秀症例発表賞』の選考対象（事前エントリー制）
- ・認定医症例発表（ポスター）※『認定医優秀症例発表賞』の選考対象（事前エントリー制）
- ・歯科衛生士発表（一般/症例）（ポスター）

筆頭発表者は本学会会員に限りませんが、共同発表者に非会員を含む場合は、演題 1 件につき抄録掲載料として 1 名当たり 5,000 円を徴収します。なお、学術大会参加時には別に参加費が必要となります。発表形式の要領は以下のとおりです。臨床家の先生方の参加に配慮するよう、口演およびポスター発表においても、症例報告や検査・診断・治療テクニック・新材料・新技術の紹介など、臨床に即した内容の発表も歓迎します。

また、本学術大会におけるポスター発表では、これまでの事前エントリー制の『優秀発表賞（優秀ポスター賞）』に加え、専門医および認定医による事前エントリー制のポスター症例発表演題を対象とする『専門医優秀症例発表賞』と『認定医優秀症例発表賞』の選考と表彰を行いますので、奮って登録願います。

本学術大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来場人数を 1,000 名に制限する予定です。発表者の皆様には、可能なかぎり現地での発表をお願いいたします。

#### 1) 口 演

- ◆現地発表または動画発表となります。現地での発表を選択された場合でも、オンデマンド配信用に動画ファイルの作成をお願いいたします。
- ◆発表時間は 8 分、質疑応答が 2 分です。円滑な会の進行と討論を実現させるため、発表時間は厳守してください。
- ◆発表は液晶プロジェクターを使用します。プロジェクターは 1 台しか使用できません。
- ◆発表に使用するスライド中の図表およびその説明・注釈は英文で表記してください。
- ◆動画ファイルは、Microsoft PowerPoint ファイルに音声を書き込んだ mp4 データをお送りいただきます。
- ◆オンデマンド配信期間中は、専用ホームページにて口演発表として公開されます。
- ◆会場発表に使用するファイルを記録した CD-R の事前送付は不要です。学会当日、ファイルを記録した USB メモリ（または CD-R）をご持参ください。当日は「PC 受付」にて、口演開始 1 時間前までに必ずファイルの確認と修正を終えてください。
- ◆詳細は、後日ホームページにてご案内いたします。

#### 2) ポスター発表

- ◆ポスター発表は、現地発表用（印刷版）とオンデマンド配信用（PDF ファイル）を作成いただきます。

- ◆オンデマンド配信期間中は、専用ホームページにてポスター発表として公開されます。
- ◆ポスターの掲示形式の詳細は「6. ポスター発表掲示形式」をご覧ください。
- ◆詳細は、大会ホームページにてご案内いたします。

#### 4. 発表の申込み

学術大会ホームページ ([https:// www.kwcs.jp/shikahozon157](https://www.kwcs.jp/shikahozon157)) による受付となります。

##### 1) 演題申込方法

- ・一般発表における筆頭発表者には、演題登録時に COI (conflicts of interest) に関する自己申告書の提出が求められます。様式等の詳細については学術大会ホームページをご参照ください。
- ・演題発表には、本会機関誌と同等の倫理規程が適用されます。詳細については、学会ホームページ ([http://www.hozon.or.jp/member/ethics\\_code.html#meeting\\_ethics](http://www.hozon.or.jp/member/ethics_code.html#meeting_ethics)) をご確認ください。

##### 2) 演題申込期間

2022年6月21日(火) 正午～2022年8月10日(水) 14:00

学術大会ホームページよりご登録ください。

演題申込期間の延長はいたしませんので、期間内に奮ってお申し込みください。

一般演題の登録は、すべて学術大会ホームページ内の「演題登録システム」にて受付いたします。

「演題登録システム」以外の受付は一切できませんのでご注意ください。

##### 3) 登録項目

演題登録画面にて、以下の項目を入力してください。

- ・発表形式区分: 「口演」「ポスター」「歯科衛生士ポスター」から選択ください。
  - ・筆頭発表者: ①氏名 ②ふりがな ③英文氏名 ④会員番号
  - ・所属: ①所属名(日本語・英語) ②住所 ③電話 ④FAX ⑤E-mail アドレス
  - ・共同発表者: ①氏名(日本語・ふりがな・英語) ②会員資格の有無 ③会員番号 ④所属
  - ・発表内容: 分野(「修復」「歯内」「歯周」「その他」から選択ください。)
  - ・図表・写真の有無: 図表・写真を掲載する場合は、グレースケールでご作成ください。図表についての説明・注釈は英文表記となります。ご協力をお願いいたします。
  - ・『優秀発表賞(優秀ポスター賞)』へのエントリーの有無について登録願います。
  - ・『専門医優秀症例発表賞』または『認定医優秀症例発表賞』へのエントリーの有無について登録願います。
- 備考: 患者国民が期待する質の高い治療法や機器等の活用法についての情報共有化を図るために、本学術大会では「ポスター」発表において、『専門医優秀症例発表賞』と『認定医優秀症例発表賞』を設け、それぞれ1演題の選考と表彰を行いますので、奮って登録願います。

##### 4) 演題・抄録提出時の注意点

- ・2022年8月10日(水) 14:00の抄録提出期限までに、ホームページ上で何度でも更新・変更が可能です。
- ・演題・抄録の申込方法の詳細はホームページ上で公開いたしますので、ご確認ください。
- ・ご登録いただきました際には、受信確認のE-mailが自動送信されます。
- ・締切直前はアクセスが集中し回線の混雑が予想されますので、余裕をもってご登録ください。
- ・以下の研究発表および国内未承認薬・未承認治療法の使用を含む症例報告の場合は、所属機関の倫理委員会・動物実験委員会、未承認新規医薬品等審査委員会等、あるいは日本歯科保存学会臨床・疫学倫理審査委員会等の適切な審査機関による承認を得ている研究であることを抄録に明記してください。
  - (1) ヒトを対象とした研究発表
  - (2) 動物を対象とした研究発表
  - (3) 臨床試料(ヒト抜去歯など)を用いた研究発表
  - (4) 適応外使用の薬剤・機器あるいは国内未承認薬・未承認治療法の使用を含む研究発表および症例報告
  - (5) 再生医療等安全性確保法に定められている再生医療等技術を含む研究発表および症例報告

なお、承認済の適用材料を用いた症例報告は大変貴重ですので、奮ってお申し込みください。
- ・採択の段階で、ご希望の形式以外での発表をお願いする場合があります。最終的な決定は、大会長にご一任ください。

5) その他

- ・学会開催期間中の演者による抄録訂正は認められておりません。
- ・筆頭発表者は日本歯科保存学会の会員に限ります。学会入会希望者は下記の学会事務局までお申し込みください。学術大会運営事務局ではございませんのでご注意ください。

【入会問合せ先】 〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9  
(一財) 口腔保健協会内 日本歯科保存学会事務局  
TEL : 03-3947-8891 FAX : 03-3947-8341

5. 第157回学術大会に関する問い合わせ先

日本歯科保存学会 2022年度秋季学術大会(第157回)運営事務局  
株式会社キョードープラス  
〒701-0205 岡山県岡山市南区妹尾 2346-12-1-7  
TEL : 086-250-7681 FAX : 086-250-7682 E-mail : shikahozon157@kwcs.jp  
ホームページ : <https://www.kwcs.jp/shikahozon157>

6. ポスター発表掲示形式

- 1) ポスターパネル(現地発表用)は、掲示可能なスペースが横90cm、縦210cmで、そのうち最上段の縦20cmは演題名等用のスペースとし、本文の示説用スペースは横90cm、縦190cmとします。
- 2) 最上段左側の横20cm、縦20cmは演題番号用スペースで、演題番号は大会事務局が用意します。
- 3) 最上段右側の横70cm、縦20cmのスペースに、演題名、所属、発表者名を表示してください。なお演題名の文字は、1文字4cm平方以上の大きさとし、また共同発表の場合、発表代表者の前に○印を付けてください。演題名を英文で併記することとなりました。ご協力をお願いいたします。
- 4) ポスター余白の見やすい位置に、発表代表者が容易にわかるように手札判(縦105mm、横80mm)程度の大きさの顔写真を掲示してください。
- 5) ポスターには図や表を多用し、見やすいように作成してください。3mの距離からでも明瞭に読めるようにしてください。図表およびその説明・注釈は英文で表記してください。研究目的、材料および方法、成績、考察、結論などを簡潔に記載してください(※症例報告の場合は、緒言、症例、経過、予後、考察、結論)。
- 6) ポスター掲示用の押しピンは、大会事務局にて用意します。
- 7) ポスターを見やすくするために、バックに色紙を貼ることは発表者の自由です。
- 8) オンデマンド配信用のPDFファイルは、横45cm、縦105cmに設定してください。



7. 事前登録について

本学術大会では事前登録を採用します。事前登録の詳細は学術大会ホームページ等にてご案内いたします。

8. 会員懇親会について

本学術大会における会員懇親会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施いたしません。

9. 抄録集について

冊子体としての抄録集発行は行いません。ホームページ上で公開いたしますので、各自必要箇所を事前に保存もしくはプリントアウトしてご用意ください。

## 日本歯科保存学会 学術大会開催予定

(2022年度春季大会～2025年度秋季大会)

	日 時	会 場	担当校・大会長
2022年度春季大会(第156回)	2022 6/16(木)～6/29(水)	Web開催	奥羽大・歯・歯内療法学 木村裕一教授
2022年度秋季大会(第157回)	2022.11.9(水) 11/10(木)～11(金)	岡山コンベンションセンター	岡山大・歯・歯周病態学 高柴正悟教授
2023年度春季大会(第158回)	2023.6.21(水) 6/22(木)～23(金)	くにびきメッセ (島根県立産業交流会館)	東歯大・歯内療法学 古澤成博教授
2023年度秋季大会(第159回)	2023.11.10(金) 11/11(土)～12(日)	アクトシティ浜松	朝日大・歯・歯冠修復学 二階堂徹教授
2024年度春季大会(第160回)	2024.5.15日(水) 5/16(木)～17(金)	仙台国際センター	東北大・歯・歯科保存学 齋藤正寛教授
2024年度秋季大会(第161回)	2024.未定	未定	大歯大・口腔治療学 前田博史教授
2025年度春季大会(第162回)	2025.未定	未定	徳島大・歯周歯内治療学 湯本浩通教授
2025年度秋季大会(第163回)	2025.未定	未定	長崎大・歯周歯内治療学 吉村篤利教授

(注) 上段: 各種委員会、理事会開催日  
下段: 評議員会、総会、学術大会開催日

- ・第9回日韓歯科保存学会学術大会: 2007年11月8日～9日(岡山大学担当)
- ・第10回日韓歯科保存学会学術大会: 2008年11月28日～29日(ソウル)
- ・第11回日韓歯科保存学会学術大会: 2009年11月12日～14日(済州島)  
(大韓歯科保存学会50周年記念大会)
- ・第12回日韓歯科保存学会学術大会: 2010年10月28日～29日(朝日大学担当)
- ・第13回日韓歯科保存学会学術大会: 2011年11月10日～11日(ソウル)
- ・第14回日韓歯科保存学会学術大会: 2012年11月22日～23日(広島大学担当)
- ・第15回日韓歯科保存学会学術大会: 2013年11月23日～24日(韓国・Gyeongju)
- ・第16回日韓歯科保存学会学術大会: 2014年10月30日～31日(日歯大新潟担当)
- ・第17回日韓歯科保存学会学術大会: 2015年11月12日～13日(日大松戸担当)  
(日本歯科保存学会60周年記念大会)
- ・第18回日韓歯科保存学会学術大会: 2016年10月22日～23日(ソウル)
- ・第19回日韓歯科保存学会学術大会: 2017年10月26日～27日(岩手医科大学担当)
- ・第20回日韓歯科保存学会学術大会: 2018年11月10日(ソウル)  
(日韓歯科保存学会20周年記念大会)
- ・第21回日韓歯科保存学会学術大会: 2019年11月9日(韓国)(ConsAsia 2019併催)
- ・第22回日韓歯科保存学会学術大会: 2020年11月16日～30日(明海大学担当:Zoom)
- ・第23回日韓歯科保存学会学術大会: 2021年11月11日(韓国担当:Zoom)
- ・第24回日韓歯科保存学会学術大会: 2022年11月10日～11日(岡大担当)

専門分科会代表者 各位  
認定分科会代表者 各位

日本歯科医学会  
会長 住友雅人  
(公印省略)

### 日本歯科医学会第107回評議員会の決定事項について

令和4年2月18日(金)に開催された標記評議員会に提出した議案は、下記のとおり決定いたしましたのでご報告いたします。

#### 記

- 第1号議案 認定分科会への登録に関する件
  - ▶第1号議案は、日本デジタル歯科学会の本学会認定分科会への登録を承認、可決確定。
- 第2号議案 日本歯科医学会規程の一部改正
  - ▶第2号議案は、第1号議案で承認された認定分科会を追加する日本歯科医学会規程の一部改正を可決確定。
- 第3号議案 令和4年度日本歯科医学会事業計画
- 第4号議案 日本歯科医学会専門分科会承認基準の一部改正
- 第5号議案 日本歯科医学会認定分科会承認基準の一部改正
- 第6号議案 日本歯科医学会会長賞授賞基準の一部改正
  - ▶第3号議案から第6号議案は、原案どおり可決確定。

以上

#### [追記]

第2号議案 認定分科会への登録に関する件につきましては、この後、3月開催の日本歯科医師会理事会において本学会規程の一部改正の議決を経て、改正規程を施行いたします。なお、登録の時期は令和4年4月1日といたします。

----- Forwarded Message -----

Subject: 【日本歯科医学会連合】国際活動委員会からの報告 - 「海外留学体験事例集」をホームページに掲載しました。

Date: Wed, 25 May 2022 17:33:30 +0900

From: (一社)日本歯科医学会連合事務局 <jimukyoku@nsigr.or.jp>

一般社団法人日本歯科医学会連合

会員 各位

(本電子メールは当法人の正会員、準会員に Bcc で配信しております。)

平素より当法人の活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

過日は、貴学会の会員の皆様には、当法人の国際活動委員会がオンラインで実施しました「海外留学ご経験者へのアンケート」に、ご多忙にもかかわらずご協力賜りありがとうございました。

このたび、ご回答いただきましたアンケート結果をまとめ、当法人のホームページに「海外留学体験事例集」として掲載しましたのでご報告申し上げます。

連合ホームページ URL: <http://www.nsigr.or.jp/>

PDF 用 URL: [http://www.nsigr.or.jp/pdf/202205\\_enq.pdf](http://www.nsigr.or.jp/pdf/202205_enq.pdf)

なお、令和 4(2022)年 9 月 12 日(月)17-19 時にフォーラムをオンラインで開催し、ご提供いただきました留学体験談をもとにディスカッションする機会を設ける予定です

貴学会の会員の皆様には、本事例集を是非ともご高覧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人日本歯科医学会連合

理事長 住友 雅人

国際活動委員会

委員長 富士谷 盛興

<日本歯科専門医機構報告>

現在，日本歯科専門医機構と協議中

2022年4月26日

## 一般社団法人日本歯学系学会協議会 第18回講演会 「共用試験の新しいルール」の開催について

下記により、日本歯学系学会協議会 第18回講演会「共用試験の新しいルール」を開催致します。どなたでもご参加いただけますので、是非とも多くの皆様にご周知いただきませうようお願い申し上げます。多数の方々のご参加をお待ちしております。

一般社団法人日本歯学系学会協議会  
理事長 羽村 章  
常任理事 馬場 一美  
理事 浅海 淳一

### 記

Web 講演会「共用試験の新しいルール」

日 時：2022年6月21日(火)16:30～18:10

開催形式：Web (Zoom)

次 第：1) 16:30 開会挨拶

2) 16:30～18:10 講演会

斎藤 隆史先生(北海道医療大学教授)

「共用試験の公的化と歯学系 CBT の検討状況」

葛西 一貴先生(日本大学松戸歯学部特任教授)

「歯学系 OSCE の公的化検討状況」

3) 18:10 閉会挨拶

参加申込方法:参加(視聴)をご希望の各位におかれましては、6月17日(金)までに下記参加申込みフォームからお手続きをお願い致します。  
申込手続きいただいた各位には、開催日の前日までにZoomのURL等をメールにてご連絡致します。

[https://oha1.heteml.net/ucjds/form\\_seminar18/](https://oha1.heteml.net/ucjds/form_seminar18/)

以上



—理事推薦（1号理事）の件—  
（提出順）

- \* 向井義晴 理事(神奈川歯科大学歯科保存学講座保存修復学分野) よりご推薦

小牧基浩 (コマキ モトヒロ) 教授

(神奈川歯科大学歯学部歯科保存学講座歯周病学分野)

・2015年7月30日入会

(専門医：無資格)

- \* 岩田隆紀 理事(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯周病学分野)  
興地隆史 理事(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔機能再構築学講座  
歯髓生物学分野) よりご推薦

島田康史 (シマダ ヤスシ) 教授

(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔機能再構築学講座う蝕制御学分野)

・1987年5月21日入会

(指導医：No. 416 専門医：No. 1158)

- \* 三谷章雄 理事 (愛知学院大学歯学部歯周病学講座)  
富士谷盛興 理事(愛知学院大学歯学部保存修復学講座/特殊診療科) よりご推薦

諸富孝彦 (モトミ タカヒコ) 教授

(愛知学院大学歯学部歯内治療学講座)

・1998年9月18日入会

(指導医：No. 350 専門医：No. 1002)

- \* 坂上竜資 理事(福岡歯科大学口腔治療学講座歯周病学分野)  
米田雅裕 理事(福岡歯科大学総合歯科学講座総合歯科学分野) よりご推薦

松崎英津子 (マツザキ エツコ) 教授

(福岡歯科大学口腔治療学講座歯科保存学分野)

・2009年11月9日入会

(専門医：No. 1283)

—名誉会員推薦の件—

- \* 坂上竜資 理事・米田雅裕 理事（福岡歯科大学）よりご推薦  
阿南 壽 前理事（学校法人福岡学園病院顧問）
  
- \* 高柴正悟 理事・吉山昌宏 理事（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科）よりご推薦  
鳥井康弘 前理事（岡山大学名誉教授）
  
- \* 小方頼昌 理事・平山聡司 理事（日本大学松戸歯学部）よりご推薦  
松島 潔 前理事（日本大学特任教授）

# 特定非営利活動法人日本歯科保存学会 定款

## 新旧対照表

新	旧
<p>(種別及び定数)</p> <p>第 13 条 この法人に次の役員を置く。</p> <p>(1) 理事 60 名以上 <u>100 名</u> 以内</p> <p>(2) 監事 1 名以上 2 名以内</p> <p>2 理事のうち 1 名を理事長、2 名を副理事長とし、常任理事を若干名置くことができる。</p>	<p>(種別及び定数)</p> <p>第 13 条 この法人に次の役員を置く。</p> <p>(1) 理事 60 名以上 <u>80 名</u> 以内</p> <p>(2) 監事 1 名以上 2 名以内</p> <p>2 理事のうち 1 名を理事長、2 名を副理事長とし、常任理事を若干名置くことができる。</p>
<p>(公告の方法)</p> <p>第 62 条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。<u>ただし、法第 28 条の 2 第 1 項に規定する貸借対照表の公告については、この法人のホームページにおいて行う。</u></p>	<p>(公告の方法)</p> <p>第 62 条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。</p>
<p><u>附 則</u></p> <p><u>この定款は、令和〇年〇月〇日に一部改正し、この日をもって施行する。</u></p>	

<変更点：定款>

以下に専門機関からのアドバイスを記しております。

- 1) 第 13 条 理事の上限を 80 名から 100 名に変更  
→人数については各法人で決定ができる。(会員に対する割合等の定めは無い)
- 2) 第 62 条 貸借対照表の公告の方法を、現在の官報だけでなくホームページでも可能にするように文言を追加  
→NPO 法(特定非営利活動促進法)の改定に合わせた変更。  
「法第 28 条」の「法」とは、NPO 法を指し定款上での定義づけは不要。
- 3) 上記 2 点の変更は、本学会での総会承認をもって効力を持ち、東京都には届出のみとなり、東京都の定款変更案の認証は不要。

## 特定非営利活動法人日本歯科保存学会専門医制度規則

### 第4章 指導医の認定

(指導医認定の申請資格)

第10条 指導医の資格を申請する者は、次の各号のいずれかを満たす専門医でなければならない。

- (1) 10年以上の専門医歴を有し、その間に学会誌に3編以上の研究論文発表があり、委員会の推薦を経て理事会で承認を受けた者
- (2) 5年以上の専門医歴を有し、その間に5編以上の研究論文の発表があり、委員会の推薦を経て理事会で承認を受けた者。研究論文のうち2編は学会誌に掲載され、そのうちの1編は、筆頭著者もしくは責任著者であること(5編すべて学会誌も可)
- (3) 委員会の推薦を経て、常任理事会、理事会で承認を受けた者

### 附 則

この規則は、平成17年11月24日に制定し、施行する。

この規則は、平成18年11月9日に一部改正し、施行する。

この規則は、平成20年6月5日に一部改正し、施行する。

この規則は、平成22年6月4日に一部改正し、施行する。

この規則は、平成24年6月28日に一部改正し、施行する。

但し、本規則第2条(2)に関しては経過措置として3年間の暫定期間を設け平成27年6月28日から施行する。

この規則は、平成26年6月19日に一部改正し、施行する。

この規則は、令和4年6月16日に一部改正し、施行する。

## 2021 年度特定非営利活動法人日本歯科保存学会事業報告書

1. 日本歯科保存学雑誌発行  
Vol.64.No.2～Vol.65.No.1（年間 5 号）
2. 英文誌「Operative Dentistry, Endodontology and Periodontology」  
（略称：ODEP）Vol.1 No.1 発行
3. 第 154 回春季学術大会(Web)および総会／第 155 回秋季学術大会(Web)開催
4. 2022 年度学会賞・学術賞・奨励賞・優秀発表賞等の選考
5. 認定医および専門医試験・認定歯科衛生士審査の実施
6. 関連団体（関連学会や日本歯科衛生士会等）との連携
7. 大韓歯科保存学会との学術交流、その他海外学会との国際交流推進
8. 各種委員会活動
9. 学術委員会による学術大会における学会主導型プログラムの企画
10. 診療ガイドラインおよび教育ガイドラインの検討・作成
11. 会員数増加対策の具体的検討
12. ホームページ管理・運営
13. NPO 法人としての活動・対応
14. 「歯科保存専門医」の検討
15. その他

特定非営利活動法人日本歯科保存学会 2021年度決算報告書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

歳	項目	2021年度予算	2021年度決算	差異	執行率	備考
	入	前年度繰越金	51,100,121	51,100,121	0	100.0%
年度会費		39,086,300	39,827,100	740,800	101.9%	
(1)入会金		300,000	314,000	14,000	104.7%	1,000円×314名
(2)本年度会費		32,809,500	33,010,000	200,500	100.6%	
(3)過年度会費		3,826,800	4,499,000	672,200	117.6%	'16(90,000)、'17(153,000)、'18(396,000)、'19(927,000)、'20(2,933,000)
(4)次年度会費		300,000	154,100	△145,900	51.4%	'22(126,000)、'23(28,100)
(5)賛助会費		1,850,000	1,850,000	0	100.0%	30社 37口
論文掲載料		3,200,000	3,790,778	590,778	118.5%	63巻6号(103,865)、64巻1号(417,240)、64巻2号(668,783)、64巻3号(484,136)、64巻4号(276,136)、64巻5号(323,939)、英文誌1巻1号(1,133,239)、65巻1号(383,440)
広告掲載料		2,000,000	2,041,600	41,600	102.1%	春抄(325,600)、64巻2号(220,000)、64巻3号(255,200)、64巻4号(246,400)、秋抄(281,600)、64巻5号(246,400)、英文誌1巻1号(246,400)、65巻1号(220,000)
認定歯科衛生士関連費		300,000	1,050,000	750,000	350.0%	申請料105名(1,050,000)
日歯学会助成金	2,990,000	2,990,000	0	100.0%	2021年度日歯学会助成金(990,000)、日本歯科医学会プロジェクト研究費(2,000,000)(令和3年度支給分)	
雑収入	700,000	7,523,787	6,823,787	1074.8%	銀行利息(750)、損保ジャパン集金事務費(418,405)、学術著作権協会複写料(177,274)、医学中央雑誌許諾抄録利用料(30,360)、バックナンバー(0)、メテオ文献許諾使用料(11,442)、用語集印税(29,578)、電子辞書印税(0)、ラベル代(43,770)、第154回春季大会余剰金(6,812,208)	
小計	48,276,300	57,223,265	8,946,965	118.5%		
合計	99,376,421	108,323,386	8,946,965	109.0%		

歳	項目	2021年度予算	2021年度決算	差異	執行率	備考
	出	次年度春季学会費	2,500,000	2,500,000	0	100.0%
次年度秋季学会費		2,500,000	2,500,000	0	100.0%	2022年度秋季学術大会(第157回)
会誌抄録集印刷費		3,200,000	3,249,949	49,949	101.6%	春季(1,884,885)、秋季(1,365,064)
誌行会誌印刷費		11,100,000	10,500,017	△599,983	94.6%	64巻2号(1,662,441)、64巻3号(1,656,490)、64巻4号(993,740)、64巻5号(1,902,351)、英文誌1巻1号(2,371,435)、65巻1号(1,897,060)、電子ジャーナル掲載用サーバー(16,500)
費会誌発送費		-	0	-	-	
通信連絡費		1,400,000	1,242,986	△157,014	88.8%	会費請求(682,407)、切手・はがき代(362,582)、TEL・FAX料(8,580)、宅配代(42,718)、振込料・手数料(22,870)、Zoom利用料(112,279)、メールマガジン配信(11,550)
事務費		1,950,000	681,640	△1,268,360	35.0%	封筒(35,200)、資料印刷(574,147)、事務用消耗品費(55,562)、大会時資料(0)、入会申込書・領収書(0)、保管文書融解処理費(16,731)
日歯学会分担金		150,000	150,000	0	100.0%	2021年度
日歯学会連合会費		1,344,600	1,344,600	0	100.0%	2021年度
日本歯科専門医機構年会費		300,000	0	△300,000	0.0%	2022年度(前納制)
調査研究費		2,000,000	2,000,000	0	100.0%	日本歯科医学会プロジェクト研究研究費分配(研究分担者7名)
認定衛生士関連費		2,200,000	2,232,427	32,427	101.5%	テキストブック製作費(1,517,890)、テキストブック転載許諾費用(277,877)、試験運営費(421,995)、委員会開催費(14,665)
各種委員会費		4,900,000	1,684,601	△3,215,399	34.4%	常任理事会(60,003)、総会・理事会(731,480)、編集委員会(25,770)、選挙管理委員会(88,665)、表彰委員会(70,450)、渉外委員会(2,095)、教育問題委員会(91,828)、学会のあり方委員会(16,760)、学術委員会(8,380)、学術用語委員会(10,790)、倫理委員会(8,380)、社会保険対策小委員会(20,000)、う蝕治療ガイドライン委員会(550,000)
事務局出張費		-	0	-	-	
学会事務局委託費		6,270,000	6,270,000	0	100.0%	522,500×12カ月
英文校閲費		660,000	678,040	18,040	102.7%	64巻3号(71,280)、64巻4号(25,740)、64巻5号(29,040)、英文誌1巻1号(476,080)、65巻1号(35,420)、65巻2号(40,480)
国際交流費		750,000	0	△750,000	0.0%	大韓歯科保存学会との交流費(0)、台湾牙體復形学会との交流費(0)、トルコ関連学会との交流費(0)
表彰費		1,100,000	949,825	△150,175	86.3%	2021年度学会賞(3件)、学術賞(2件)、奨励賞(6件)、盾・賞状作成代(209,825)
ホームページ運営費		615,000	594,000	△21,000	96.6%	ドメイン使用料(66,000)、HP更新・管理費(528,000)
市民公開フォーラム開催費		500,000	0	△500,000	0.0%	
関連団体経費	300,000	90,000	△210,000	30.0%	会議出張費(0)、歯学協年会費(50,000)、歯保連年会費(40,000)	
法人運営費	1,950,000	1,895,952	△54,048	97.2%	都民税・事業税(98,800)、国税(81,800)、税理士顧問料12ヶ月分(396,000)、顧問弁理料12ヶ月分(396,000)、法人学会事務費(660,000)、決算報酬代(66,000)、役員登記(33,000)、源泉所得税(114,102)、決算公告(50,250)	
予備費	2,300,000	22,000	△2,278,000	1.0%	慶弔費(22,000)	
小計	47,989,600	38,586,037	△9,403,563	80.4%		
積立金	会員データ構築費	500,000	500,000	0	100.0%	
	特別事業費	1,000,000	1,000,000	0	100.0%	
次年度繰越金	49,886,821	68,237,349	18,350,528	136.8%	銀行(普1)3,191,630、銀行(普2)37,545,719、銀行(定)27,500,000	
合計	99,376,421	108,323,386	8,946,965	109.0%		

2021年度 特定非営利活動法人日本歯科保存学会  
**会員データー構築積立金決算書**

自 2021年4月1日  
 至 2022年3月31日

単位:円

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
本部会計より	500,000		本年度支出	0	
銀行利息	192				
前年度繰越金	11,240,759		次年度繰越金	11,740,951	
合計	11,740,951		合計	11,740,951	

2021年度 特定非営利活動法人日本歯科保存学会

**特別事業費収支決算書**

自 2021年4月1日  
 至 2022年3月31日

単位:円

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
本部会計より	1,000,000		本年度支出	1,000,000	①②
銀行利息	354				
前年度繰越金	20,740,373		次年度繰越金	20,740,727	
合計	21,740,727		合計	21,740,727	

- ①第154回春季大会時開催の学会主導型プログラム 500,000円  
 ②第155回秋季大会時開催の学会主導型プログラム 500,000円

特定非営利活動法人日本歯科保存学会 認定委員会 2021年度決算報告書

(2021年4月1日～2022年3月31日)(単位:円)

歳 入 の 部	項 目	2021年度予算	2021年度決算	差 異	執 行 率	備 考
	前年度繰越金	22,453,901	22,453,901	0	100.0%	
	認定医申請料	700,000	480,000	△ 220,000	68.6%	10,000円×48人
	認定医審査料	1,400,000	980,000	△ 420,000	70.0%	20,000円×49人(再受験1名含む)
	認定医登録料	700,000	700,000	0	100.0%	10,000円×70人
	専門医申請料	100,000	120,000	20,000	120.0%	10,000円×12人
	専門医審査料	300,000	390,000	90,000	130.0%	30,000円×13人(再受験1名含む)
	専門医登録料	100,000	120,000	20,000	120.0%	10,000円×12人
	指導医申請料	100,000	40,000	△ 60,000	40.0%	10,000円×4人
	指導医審査料	300,000	120,000	△ 180,000	40.0%	30,000円×4人
	指導医登録料	100,000	60,000	△ 40,000	60.0%	10,000円×6人
	認定医更新料	900,000	710,000	△ 190,000	78.9%	10,000円×71人
	専門医更新料	800,000	1,280,000	480,000	160.0%	10,000円×126人
	指導医更新料	230,000	460,000	230,000	200.0%	10,000円×46人
雑 収 入	3,000	7	△ 2,993	0.2%	銀行利息、認定証再発行料	
小 計	5,733,000	5,460,007	△ 272,993	95.2%		
合 計	28,186,901	27,913,908	△ 272,993	99.0%		

歳 出 の 部	項 目	2021年度予算	2021年度決算	差 異	執 行 率	備 考
	会 議 費	1,400,000	1,063,302	△ 336,698	76.0%	委員会開催費・事前審査開催費・オンライン試験実施運営費
	研 修 会 費	500,000	500,000	0	100.0%	第154回大会、第155回大会
	事 務 印 刷 費	1,000,000	515,770	△ 484,230	51.6%	認定証・更新記録カード・資料作成費
	事 務 消 耗 品 費	80,000	27,053	△ 52,947	33.8%	文具代
	通 信 費	300,000	265,855	△ 34,145	88.6%	振込料、TEL・FAX代、切手・レターパック・宅配便代
	事 務 委 託 費	1,835,460	1,835,460	0	100.0%	152,955円×12ヶ月分
	認定委員会積立金	500,000	500,000	0	0.0%	
	予 備 費	100,000	0	△ 100,000	0.0%	
	小 計	5,715,460	4,707,440	△ 1,008,020	82.4%	
次年度繰越金	22,471,441	23,206,468	735,027	103.3%	銀行(普)1,441,104 郵振 21,765,364	
合 計	28,186,901	27,913,908	△ 272,993	99.0%		



2021年度 特定非営利活動法人日本歯科保存学会  
**認定委員会積立金収支決算**

自 2021年4月1日  
 至 2022年3月31日

単位:円

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
認定委員会会計より	500,000		本年度支出	620,464	①
銀行利息	350				
前年度繰越金	15,759,447		次年度繰越金	15,639,333	
合計	16,259,797		合計	16,259,797	

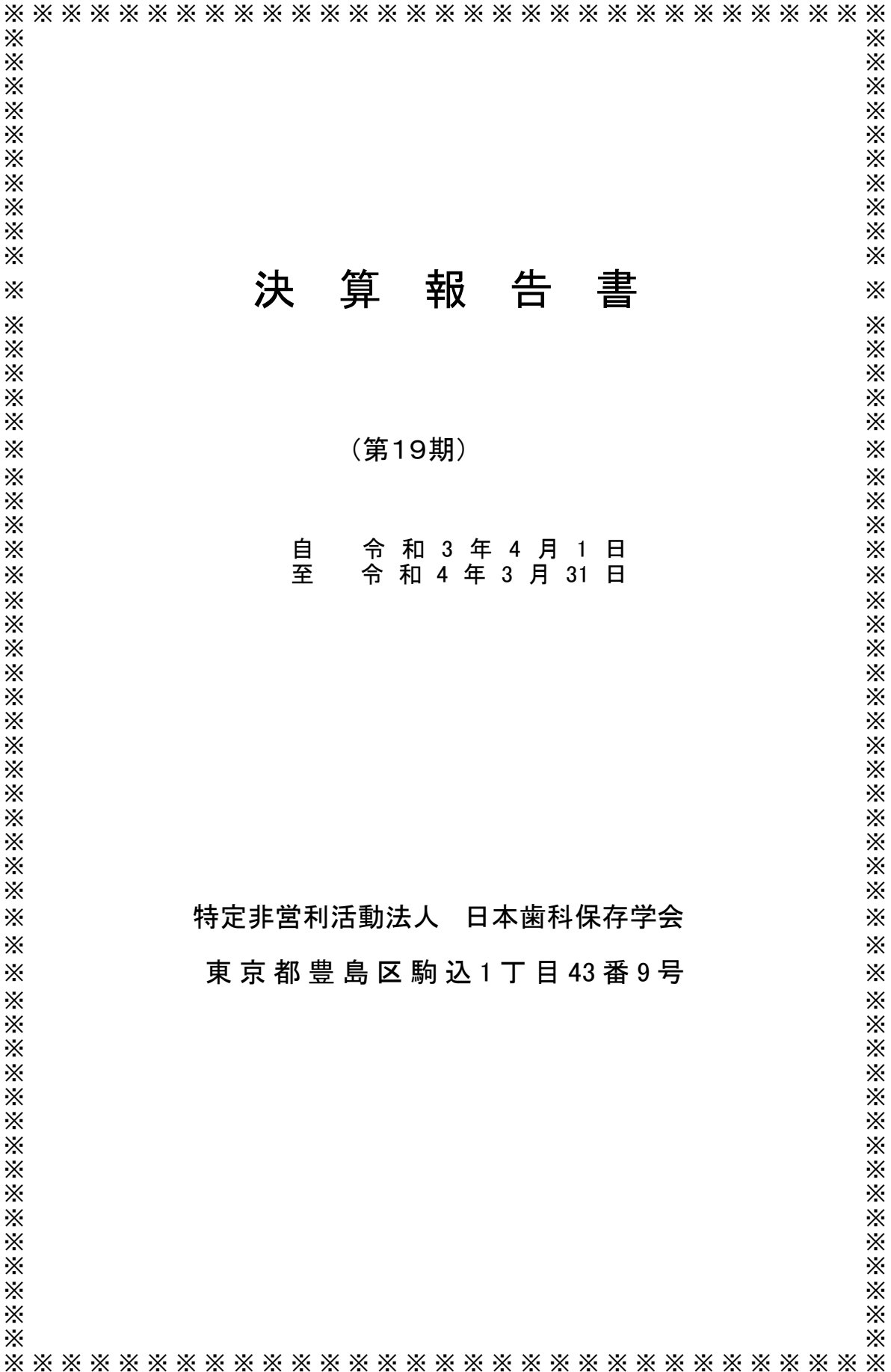
①DNI研修単位管理システム業務委託費・年間保守管理費 620,464円

繰越金内訳(三菱UFJ銀行)

定期預金

No.007	10,009,245
No.019	850,896
No.023	504,854
No.024	503,440
No.026	473,947
No.027	157,300
No.028	148,201
No.029	35,241
No.031	69,451
No.032	510,494
No.033	261,542
No.034	174,061
No.035	1,000,017
No.036	940,644

15,639,333 (うち本年度利息 350)



# 決算報告書

(第19期)

自 令和3年4月1日  
至 令和4年3月31日

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会  
東京都豊島区駒込1丁目43番9号

# 令和3年度 活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

(単位:円)

科 目	特定非営利活動に 係る事業	その他の事業	合計
<b>I 経常収益</b>			
1 受取会費	39,967,000	0	39,967,000
受取入会金	314,000	0	314,000
正会員受取会費	37,803,000	0	37,803,000
賛助会員受取会費	1,850,000	0	1,850,000
2 事業収益	12,342,378	0	12,342,378
論文掲載料	3,790,778	0	3,790,778
広告掲載料	2,041,600	0	2,041,600
認定歯科衛生士事業収入	1,050,000	0	1,050,000
認定事業収入	5,460,000	0	5,460,000
3 受取助成金等	2,990,000	0	2,990,000
日本歯科医学会助成金	2,990,000	0	2,990,000
4 雑収益	6,857,631	667,059	7,524,690
受取利息	1,653	0	1,653
その他の雑収入	6,855,978	667,059	7,523,037
経常収益計	62,157,009	667,059	62,824,068
<b>II 経常費用</b>			
1 事業費			0
(1) その他経費	41,079,096	129,417	41,208,513
学術大会事業費	5,000,000		5,000,000
調査研究費	2,000,000		2,000,000
会誌刊行事業費	13,749,966		13,749,966
関連団体経費	90,000		90,000
英文校閲費	678,040		678,040
国際交流費	0		0
特別事業費	1,000,000		1,000,000
認定衛生士関連費	2,232,427		2,232,427
認定委員会事業費	4,827,904		4,827,904
表彰費	949,825		949,825
日歯学会分担金	150,000		150,000
日歯学会連合会費	1,344,600		1,344,600
日本歯科専門医機構年会費	300,000		300,000
各種委員会費	786,566	17,887	804,453
通信連絡費	1,105,489	13,198	1,118,687
事務費	606,238	7,238	613,476
学会事務局委託費	5,576,426	66,574	5,643,000
法人運営費	153,322	18,213	171,535
ホームページ運営費	528,293	6,307	534,600
2 管理費			
(1) その他経費	3,324,828	0	3,324,828
各種委員会費	880,148	0	880,148
通信連絡費	124,299	0	124,299
事務費	68,164	0	68,164
学会事務局委託費	627,000	0	627,000
法人運営費	1,543,817	0	1,543,817
渉外費	22,000	0	22,000
ホームページ運営費	59,400	0	59,400
経常費用計	44,403,924	129,417	44,533,341
当期経常増減額	17,753,085	537,642	18,290,727
経常外収益			0
	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
経常外費用			0
	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
経理区分振替額	354,342	△ 354,342	0
税引前当期正味財産増減額	18,107,427	183,300	18,290,727
法人税、住民税及び事業税	0	183,300	183,300
前期繰越正味財産額	126,084,001	0	126,084,001
次期繰越正味財産額	144,191,428	0	144,191,428

# 貸借対照表

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	91,443,817		
前払費用	5,000,000		
特別事業引当特定資産	20,740,727		
会員データ構築引当特定資産	11,740,951		
認定事業引当特定資産	15,639,333		
流動資産合計		144,564,828	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			144,564,828
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	144,000		
未払法人税等	183,300		
流動負債合計		327,300	
2 固定負債			
長期前受金	46,100		
固定負債合計		46,100	
負債合計			373,400
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		126,084,001	
当期正味財産増減額		18,107,427	
正味財産合計			144,191,428
負債及び正味財産合計			144,564,828

## 令和3年度 計算書類の注記

### 1 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっている。

#### (1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	学術大会開催 事業	市民公開講座 等活動事業	機関紙発行事 業	広報活動事業	連携交流事業
I 経常収益					
1 受取会費	2,497,938	4,995,875	12,489,687	4,995,875	4,995,875
2 事業収益	0	0	3,790,778	0	0
3 受取助成金等	2,990,000	0	0	0	0
4 雑収益	6,812,754	0	0	0	0
経常収益計	12,300,692	4,995,875	16,280,465	4,995,875	4,995,875
II 経常費用					
(1) その他経費					
学術大会事業費	5,000,000	0	0	0	0
調査研究費	2,000,000	0	0	0	0
会誌刊行事業費	0	0	13,749,966	0	0
関連団体経費	0	0	0	0	90,000
英文校閲費	0	0	678,040	0	0
国際交流費	0	0	0	0	0
特別事業費	1,000,000	0	0	0	0
認定歯科衛生士関連費	0	0	0	0	0
認定委員会事業費	0	0	0	0	0
表彰費	0	0	0	949,825	0
日歯学会分担金	0	0	0	0	150,000
日歯学会連合会費	0	0	0	0	1,344,600
日本歯科専門医機構年会費	0	0	0	0	300,000
各種委員会費	19,170	0	25,770	70,450	0
通信連絡費	138,187	138,186	138,186	138,186	138,186
事務費	75,780	75,780	75,780	75,780	75,780
学会事務局委託費	697,055	697,053	697,053	697,053	697,053
法人運営費	19,167	19,165	19,165	19,165	19,165
渉外費	0	0	0	0	0
ホームページ運営費	0	0	0	528,293	0
その他経費計	8,949,359	930,184	15,383,960	2,478,752	2,814,784
経常費用計	8,949,359	930,184	15,383,960	2,478,752	2,814,784
当期経常増減額	3,351,333	4,065,691	896,505	2,517,123	2,181,091

科目	認定事業	広告掲載事業	著作権使用料 事業	その他の事業	事業部門計
I 経常収益					
1 受取会費	2,497,937	0	0	2,497,938	34,971,125
2 事業収益	6,510,000	2,041,600	0	0	12,342,378
3 受取助成金等	0	0	0	0	2,990,000
4 雑収益	357	0	667,059	44,520	7,524,690
経常収益計	9,008,294	2,041,600	667,059	2,542,458	57,828,193
II 経常費用					
(1) その他経費					
学術大会事業費	0	0	0	0	5,000,000
調査研究費	0	0	0	0	2,000,000
会誌刊行事業費	0	0	0	0	13,749,966
関連団体経費	0	0	0	0	90,000
英文校閲費	0	0	0	0	678,040
国際交流費	0	0	0	0	0
特別事業費	0	0	0	0	1,000,000
認定歯科衛生士関連費	2,232,427	0	0	0	2,232,427
認定委員会事業費	4,827,904	0	0	0	4,827,904
表彰費	0	0	0	0	949,825
日歯学会分担金	0	0	0	0	150,000
日歯学会連合会費	0	0	0	0	1,344,600
日本歯科専門医機構年会費	0	0	0	0	300,000
各種委員会費	0	0	17,887	671,176	804,453
通信連絡費	138,186	138,186	13,198	138,186	1,118,687
事務費	75,780	75,779	7,238	75,779	613,476
学会事務局委託費	697,053	697,053	66,574	697,053	5,643,000
法人運営費	19,165	19,165	18,213	19,165	171,535
渉外費	0	0	0	0	0
ホームページ運営費	0	0	6,307	0	534,600
その他経費計	7,990,515	930,183	129,417	1,601,359	41,208,513
経常費用計	7,990,515	930,183	129,417	1,601,359	41,208,513
当期経常増減額	1,017,779	1,111,417	537,642	941,099	16,619,680

科目	管理部門	合計
I 経常収益		
1 受取会費	4,995,875	39,967,000
2 事業収益	0	12,342,378
3 受取助成金等	0	2,990,000
4 雑収益	0	7,524,690
経常収益計	4,995,875	62,824,068
II 経常費用		
(1) その他経費		
学術大会事業費	0	5,000,000
調査研究費	0	2,000,000
会誌刊行事業費	0	13,749,966
関連団体経費	0	90,000
英文校閲費	0	678,040
国際交流費	0	0
特別事業費	0	1,000,000
認定歯科衛生士関連費	0	2,232,427
認定委員会事業費	0	4,827,904
表彰費	0	949,825
日歯学会分担金	0	150,000
日歯学会連合会費	0	1,344,600
日本歯科専門医機構年会費	0	300,000
各種委員会費	880,148	1,684,601
通信連絡費	124,299	1,242,986
事務費	68,164	681,640
学会事務局委託費	627,000	6,270,000
法人運営費	1,543,817	1,715,352
渉外費	22,000	22,000
ホームページ運営費	59,400	594,000
その他経費計	3,324,828	44,533,341
経常費用計	3,324,828	44,533,341
当期経常増減額	1,671,047	18,290,727

# 財産目録

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	91,443,817	
手許現金	0	
普通預金	42,178,453	
三菱UFJ銀行駒込支店 #0510579	3,191,630	
三菱UFJ銀行駒込支店 #4469651	37,545,719	
三菱UFJ銀行駒込支店 #0510553	1,441,104	
定期預金	27,500,000	
三菱UFJ銀行駒込支店 #0273362	27,500,000	
郵便振替	21,765,364	
ゆうちょ銀行 #00130-8-552710	21,765,364	
前払費用	5,000,000	
2022年度春季・秋季学術大会	5,000,000	
特別事業引当特定資産	20,740,727	
定期預金	20,740,727	
三菱UFJ銀行駒込支店 #8784597	20,740,727	
会員データ構築引当特定資産	11,740,951	
定期預金	11,740,951	
三菱UFJ銀行駒込支店 #1055328	11,740,951	
認定事業引当特定資産	15,639,333	
定期預金	15,639,333	
三菱UFJ銀行駒込支店 #0383061	15,639,333	
	流動資産合計	144,564,828
	固定資産合計	0
	資産合計	144,564,828
II 負債の部		
1 流動負債		
前受金	144,000	
令和4年度年会費	144,000	
未払法人税等	183,300	
令和3年度確定法人税、住民税及び事業税	183,300	
	流動負債合計	327,300
2 固定負債		
長期前受金	46,100	
令和5年度年会費	37,100	
令和6年度年会費	9,000	
	固定負債合計	46,100
	負債合計	373,400
	正味財産	144,191,428



# 収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考	執行率
I 事業活動収支の部					
事業活動収入					
会費収入	39,086,300	39,967,000	△ 880,700		102.3%
入会金収入	300,000	314,000	△ 14,000		104.7%
正会員会費収入	36,936,300	37,803,000	△ 866,700		102.3%
賛助会員会費収入	1,850,000	1,850,000	0		100.0%
事業収入	11,230,000	12,342,378	△ 1,112,378		109.9%
論文掲載料収入	3,200,000	3,790,778	△ 590,778		118.5%
広告掲載料収入	2,000,000	2,041,600	△ 41,600		102.1%
認定歯科衛生士事業収入	300,000	1,050,000	△ 750,000		350.0%
認定事業収入	5,730,000	5,460,000	270,000		95.3%
補助金等収入	2,990,000	2,990,000	0		100.0%
日本歯科医学会助成金収入	2,990,000	2,990,000	0		100.0%
雑収入	708,000	7,524,690	△ 6,816,690		1062.8%
利息収入	8,000	1,653	6,347		20.7%
その他の雑収入	700,000	7,523,037	△ 6,823,037		1074.7%
事業活動収入計	54,014,300	62,824,068	△ 8,809,768		116.3%
事業活動支出					
事業費支出	37,630,060	32,322,762	5,307,298		85.9%
学術大会事業費支出	5,000,000	5,000,000	0		100.0%
市民公開フォーラム開催費支出	500,000	0	500,000		0.0%
調査研究費支出	2,000,000	2,000,000	0		100.0%
会誌発行事業費支出	14,300,000	13,749,966	550,034		96.2%
関連団体経費支出	300,000	90,000	210,000		30.0%
英文校閲費支出	660,000	678,040	△ 18,040		102.7%
国際交流費支出	750,000	0	750,000		0.0%
特別事業費支出	3,000,000	1,000,000	2,000,000		33.3%
会員データ構築事業費支出	210,000	0	210,000		0.0%
認定歯科衛生士関連支出	2,200,000	2,232,427	△ 32,427		101.5%
認定委員会事業費支出	5,815,460	4,827,904	987,556		83.0%
表彰費支出	1,100,000	949,825	150,175		86.3%
日歯学会分担金支出	150,000	150,000	0		100.0%
日歯学会連合会費支出	1,344,600	1,344,600	0		100.0%
日本歯科専門医機構年会費支出	300,000	300,000	0		100.0%
管理費支出	17,085,000	12,393,879	4,691,121		72.5%
各種委員会費支出	4,900,000	1,684,601	3,215,399		34.4%
通信連絡費支出	1,400,000	1,242,986	157,014		88.8%
事務費支出	1,950,000	681,640	1,268,360		35.0%
学会事務局委託費支出	6,270,000	6,270,000	0		100.0%
法人運営費支出	1,950,000	1,715,352	234,648		88.0%
渉外費支出	0	22,000	△ 22,000		#DIV/0!
ホームページ運営費支出	615,000	594,000	21,000		96.6%
租税公課支出	0	183,300	△ 183,300		#DIV/0!
事業活動支出計	54,715,060	44,716,641	9,998,419		81.7%
事業活動収支差額	△ 700,760	18,107,427	△ 18,808,187		-2584.0%
II 投資活動収支の部					
投資活動収入					
積立金取崩収入	2,000,000	2,000,000	0		100.0%
会員データ構築引当特定資産取崩収入	500,000	500,000	0		100.0%
認定事業引当特定資産取崩収入	500,000	500,000	0		100.0%
特別事業引当特定資産取崩収入	1,000,000	1,000,000	0		100.0%
投資活動収入計	2,000,000	2,000,000	0		100.0%
投資活動支出					
積立金繰入支出	2,000,000	2,000,000	0		100.0%
会員データ構築引当特定資産繰入支出	500,000	500,000	0		100.0%
認定事業引当特定資産繰入支出	500,000	500,000	0		100.0%
特別事業引当特定資産繰入支出	1,000,000	1,000,000	0		100.0%
投資活動支出計	2,000,000	2,000,000	0		100.0%
投資活動収支差額	0	0	0		
III 予備費支出	2,400,000		2,400,000		0.0%
当期収支差額	△ 3,100,760	18,107,427	△ 21,208,187		-584.0%
前期繰越収支差額	121,294,601	126,084,001	△ 4,789,400		103.9%
次期繰越収支差額	118,193,841	144,191,428	△ 25,997,587		122.0%

## 収支計算書に対する注記

### 1 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、前払費用、特別事業引当特定資産、会員データ構築引当特定資産、認定事業引当特定資産、前受金、未払法人税等及び長期前受金を含めている。

なお、次期繰越収支差額の内訳は2.に示すとおりである。

### 2 予備費の流用について

予備費のうち22,000円を慶弔費に流用し、渉外費支出として計上している。

### 3 次期繰越収支差額の内訳

科目	前年度残高	当年度残高
現金預金	73,554,022	91,443,817
前払費用	5,300,000	5,000,000
特別事業引当特定資産	20,740,373	20,740,727
会員データ構築引当特定資産	11,240,759	11,740,951
認定事業引当特定資産	15,759,447	15,639,333
合計	126,594,601	144,564,828
前受金	294,000	144,000
未払法人税等	180,600	183,300
長期前受金	36,000	46,100
合計	510,600	373,400
次期繰越収支差額	126,084,001	144,191,428



# 収益事業活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

(単位:円)

科目	決算額
I 経常収益	
1 事業収入	667,059
雑収入	667,059
経常収益計	667,059
II 経常費用	
1 事業費	
各種委員会費	17,887
通信連絡費	13,198
事務費	7,238
学会事務局委託費	66,574
法人運営費	18,213
ホームページ運営費	6,307
経常費用計	129,417
非収益事業への振替額	354,342
税引前当期正味財産増減額	183,300
法人税、住民税及び事業税	183,300
当期正味財産増減額	0

# 収益事業貸借対照表

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	183,300		
流動資産合計		183,300	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			183,300
II 負債の部			
1 流動負債			
未払法人税等	183,300		
流動負債合計		183,300	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			183,300
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増減額		0	
正味財産合計			0
負債及び正味財産合計			183,300

# 監 査 報 告 書

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会  
理 事 長 石井 信之 殿  
財務担当常任理事 向井 義晴 殿

特定非営利活動法人日本歯科保存学会の 2021 年度の事業ならびに決算各項について監査を行った結果、その正確かつ適正なることを認めます。

2022 年 5 月 13 日

特定非営利活動法人日本歯科保存学会

監 事 榎 石 武 美

監 事 中 村 勝 文

2022 年度特定非営利活動法人日本歯科保存学会事業計画（案）

1. 日本歯科保存学雑誌発行  
Vol.65.No.2～Vol.66.No.1（年間 5 号）
2. 英文誌「Operative Dentistry, Endodontology and Periodontology」  
（略称：ODEP）2 巻 1 号発行
3. 第 156 回春季学術大会および総会／第 157 回秋季学術大会開催
4. 2023 年度学会賞・学術賞・奨励賞・優秀発表賞等の選考
5. 認定医および専門医試験・認定歯科衛生士審査の実施
6. 関連団体（関連学会や日本歯科衛生士会等）との連携
7. 大韓歯科保存学会および台湾牙體復形学会との学術交流、その他海外学会との国際交流推進
8. 各種委員会活動
9. 学術委員会による学術大会における学会主導型プログラムの企画
10. 診療ガイドラインおよび教育ガイドラインの検討・作成
11. 会員数増加対策の具体的検討
12. ホームページ管理・運営
13. 市民公開フォーラム開催
14. NPO 法人としての活動・対応
15. 「歯科保存専門医」の検討  
（日本歯科専門医機構への認証申請）
16. その他

特定非営利活動法人日本歯科保存学会2022年度予算(案)

(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位:円)

	項目	2022年度予算	2021年度予算	差異	備考
歳入	前年度繰越金	68,237,349	51,100,121	17,137,228	
	年度会費	40,105,000	39,086,300	1,018,700	
	(1)入会金	350,000	300,000	50,000	1,000円×350名
	(2)本年度会費	33,863,000	32,809,500	1,053,500	正会員A 9,000円×4,250名×0.85=32,512,500円、正会員B 5,000円×300名×0.9=1,350,000円
	(3)過年度会費	3,692,000	3,826,800	△134,800	87名('19、'20、'21未納者)×27,000円×0.2+134名('20、'21未納者)×18,000円×0.3+347名('21未納者)×9,000円×0.8
	(4)次年度会費	300,000	300,000	0	年度末入会手続き者30名
	(5)賛助会費	1,900,000	1,850,000	50,000	31社 38口
	論文掲載料	3,200,000	3,200,000	0	(印刷費の30%×0.90)+未収分
	広告掲載料	2,000,000	2,000,000	0	2021年度実績より(65/2～66/1、英文誌2/1、春季・秋季抄録号)
	認定歯科衛生士関連費	1,000,000	300,000	700,000	申請料100名
日歯学会助成金	990,000	2,990,000	△2,000,000	日本歯科医学会助成金(2021年度実績)	
雑収入	5,000,000	700,000	4,300,000	銀行利息・損保ジャパン集金事務費、出版著作権複写料、学協会著作権複写料、第155回秋季大会余剰金4,300,000円、その他	
	小計	52,295,000	48,276,300	4,018,700	
	合計	120,532,349	99,376,421	21,155,928	

	項目	2022年度予算	2021年度予算	差異	備考
歳出	次年度春季学会費	2,500,000	2,500,000	0	東京歯科大学歯内療法学講座
	次年度秋季学会費	3,500,000	2,500,000	1,000,000	朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野 歯冠修復学(土日開催に伴う補助金1,000,000円を含む)
	本年度秋季学会オンデマンド配信費	2,500,000	-	2,500,000	岡山大学学術研究院医歯薬学域歯周病態学分野
	抄録集印刷費	3,200,000	3,200,000	0	1,600,000円×2号分
	会誌印刷費	11,100,000	11,100,000	0	和文誌1,850,000円×5号(65/2～66/1)、英文誌1,850,000円×1号(2/1)
	通信連絡費	1,200,000	1,400,000	△200,000	会費請求、切手・はがき代、TEL代、FAX代、宅配代
	事務費	1,750,000	1,950,000	△200,000	封筒70,000円、資料印刷1,500,000円、その他
	日歯学会分担金	150,000	150,000	0	2022年度分担金
	日歯学会連合会費	1,365,300	1,344,600	20,700	2022年度会費
	日本歯科専門医機構年会費	300,000	300,000	0	2022年度会費
調査研究費	-	2,000,000	△2,000,000	-	
認定衛生士関連費	2,200,000	2,200,000	0	審査会開催・試験運営費(1回)120万円、バッジ作成100万円	
各種委員会費	9,000,000	4,900,000	4,100,000	常任理事会(3回)150万円、総会50万円、大会時理事会・委員会費80万円、学会のあり方委員会10万円、編集委員会30万円、表彰委員会30万円、学術用語委員会240万円(保存修復学用語集製作費)、う蝕治療GL小委員会305万円(歯髄保護GL製作費90万円、根面う蝕GL製作費135万円を含む)他	
事務局出張費	250,000	0	250,000	2名(岡山)	
学会事務局委託費	6,270,000	6,270,000	0	522,500円(消費税込み)×12カ月	
英文校閲費	660,000	660,000	0	和文誌・英文誌の添削料1号あたり110,000円×6号分	
国際交流費	1,200,000	750,000	450,000	大韓歯科保存学会(80万円)・台湾牙體復形学会(20万円)・トルコ歯科関連学会(20万円)他との交流費	
表彰費	1,100,000	1,100,000	0	学会賞・学術賞・奨励賞賞牌および副賞	
ホームページ運営費	615,000	615,000	0	ホームページ管理・更新費、ドメイン使用料	
市民公開フォーラム開催費	1,000,000	500,000	500,000	運営費	
関連団体経費	300,000	300,000	0	歯学協会費、歯保連会費、その他	
法人運営費	1,900,000	1,950,000	△50,000	税金(法人住民税、法人事業税、国税)、税理士顧問料12ヶ月(396,000円)、法人事務委託費12ヶ月(660,000円)、顧問弁護士料12ヶ月(396,000円)	
予備費	2,000,000	2,300,000	△300,000	その他	
	小計	54,060,300	47,989,600	6,070,700	
積立金	会員データ構築費	500,000	500,000	0	
	特別事業費	500,000	1,000,000	△500,000	
	次年度繰越金	65,472,049	49,886,821	15,585,228	
	合計	120,532,349	99,376,421	21,155,928	



2022年度 特定非営利活動法人日本歯科保存学会  
**会員データ構築積立金収支予算<案>**

自 2022年4月1日

至 2023年3月31日

単位:円

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
本部会計より	500,000		本年度支出	210,000	①
銀行利息	200				
前年度繰越金	11,740,951		次年度繰越金	12,031,151	
合計	12,241,151		合計	12,241,151	

①バーコード付きカード作製費:210,000円(300枚作製代および200枚発送代)

2022年度 特定非営利活動法人日本歯科保存学会

**特別事業費収支予算<案>**

自 2022年4月1日

至 2023年3月31日

単位:円

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
本部会計より	500,000		本年度支出	1,000,000	①②
銀行利息	400				
前年度繰越金	20,740,727		次年度繰越金	20,241,127	
合計	21,241,127		合計	21,241,127	

①第156回春季大会時開催の学会主導型プログラム 500,000円

②第157回秋季大会時開催の学会主導型プログラム 500,000円

特定非営利活動法人日本歯科保存学会認定委員会2022年度予算(案)  
(2022年4月1日～2023年3月31日)

単位:円

歳 入 の 部	項 目	2022年度予算	2021年度予算	差 異	備 考
	前年度繰越金	23,206,468	22,453,901	752,567	
	認定医申請料	700,000	700,000	0	10,000×70人(第20回,第21回)
	認定医審査料	1,400,000	1,400,000	0	20,000×70人(第20回,第21回)
	認定医登録料	700,000	700,000	0	10,000×70人(第19回,第20回)
	専門医申請料	100,000	100,000	0	10,000×10人(第62回,第63回)
	専門医審査料	300,000	300,000	0	30,000×10人(第62回,第63回)
	専門医登録料	100,000	100,000	0	10,000×10人(第61回,第62回)
	指導医申請料	100,000	100,000	0	10,000×10人
	指導医審査料	300,000	300,000	0	30,000×10人
	指導医登録料	100,000	100,000	0	10,000×10人
	認定医更新料	730,000	900,000	△ 170,000	10,000×73名(第10回・第11回:専門医取得者は除く) 10,000×101人
	専門医更新料	1,010,000	800,000	210,000	(第3回:7人,第4回:5人,第14回:8人,第15回:15人,第24回:28人,第25回:14人,第33回:2人,第34回:2人,第43回:5人,第44回:12人,第52回:1人,第53回:2人)
指導医更新料	410,000	230,000	180,000	10,000×41人	
雑収入	3,000	3,000	0	銀行利息	
小 計	5,953,000	5,733,000	220,000		
合 計	29,159,468	28,186,901	972,567		

歳 出 の 部	項 目	2022年度予算	2021年度予算	差 異	備 考
	会 議 費	1,300,000	1,400,000	△ 100,000	委員会費、試験運営費
	研 修 会 費	500,000	500,000	0	第156回、第157回大会時
	事務印刷費	1,200,000	1,000,000	200,000	申請書、認定証、研修記録簿、資料作成費、新認定証作成費
	事務消耗品費	80,000	80,000	0	文具代
	通 信 費	400,000	300,000	100,000	振込料、TEL・FAX代、切手・宅配便代、認定証送代
	事務委託費	1,835,460	1,835,460	0	152,955円×12ヶ月分(消費税含む)
	認定委員会積立金	500,000	500,000	0	
予 備 費	100,000	100,000	0		
小 計	5,915,460	5,715,460	200,000		
次年度繰越金	23,244,008	22,471,441	772,567	三菱UFJ銀行(普)、郵便振替	
合 計	29,159,468	28,186,901	972,567		

2022年度 特定非営利活動法人日本歯科保存学会

## 認定委員会積立金収支予算(案)

自 2022年4月 1日

至 2023年3月31日

単位:円

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
認定委員会会計より	500,000	本年度積立金分	本年度支出	1,300,000	①
銀行利息	400				
前年度繰越金	15,639,333		次年度繰越金	14,839,733	
合計	16,139,733		合計	16,139,733	

<支出内訳>

①DNI研修単位管理システム業務委託費・年間保守管理費・出張費:1,300,000円

収 支 予 算 書

(第20期)

自 令和 4 年 4 月 1 日  
至 令和 5 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 日本歯科保存学  
東京都豊島区駒込 1 丁目 43 番 9 号

# 収支予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
事業活動収入				
会費収入	40,105,000	39,086,300	1,018,700	
入会金収入	350,000	300,000	50,000	
会費収入	37,855,000	36,936,300	918,700	
法人会費収入	1,900,000	1,850,000	50,000	
事業収入	12,150,000	11,230,000	920,000	
論文掲載料収入	3,200,000	3,200,000	0	
広告掲載料収入	2,000,000	2,000,000	0	
認定委員会事業収入	5,950,000	5,730,000	220,000	
認定歯科衛生士関連収入	1,000,000	300,000	700,000	
補助金等収入	990,000	2,990,000	△ 2,000,000	
日本歯科医学会助成金	990,000	2,990,000	△ 2,000,000	
雑収入	5,005,600	708,000	4,297,600	
利息収入	5,600	8,000	△ 2,400	
雑収入	5,000,000	700,000	4,300,000	
事業活動収入計	58,250,600	54,014,300	4,236,300	
事業活動支出				
事業費支出	54,202,260	49,091,560	5,110,700	
春季・秋季学会費支出	6,000,000	5,000,000	1,000,000	
秋季学会オンデマンド配信費支出	2,500,000	0	2,500,000	
会誌発行費支出	14,300,000	14,300,000	0	
日歯学会分担金支出	150,000	150,000	0	
日歯学会連合会費支出	1,365,300	1,344,600	20,700	
日本歯科専門医機構年会費支出	300,000	300,000	0	
調査研究費支出	0	2,000,000	△ 2,000,000	
認定歯科衛生士関連支出	2,200,000	2,200,000	0	
各種委員会費支出	6,200,000	2,250,000	3,950,000	
事務局出張費支出	250,000	0	250,000	
学会事務局委託費支出	5,643,000	5,643,000	0	
英文校閲費支出	660,000	660,000	0	
国際交流費支出	1,200,000	750,000	450,000	
表彰費支出	1,100,000	1,100,000	0	
ホームページ運営費支出	553,500	553,500	0	
市民公開フォーラム開催費支出	1,000,000	500,000	500,000	
関連団体経費支出	300,000	300,000	0	
通信運搬費支出	1,080,000	1,260,000	△ 180,000	
事務費支出	1,575,000	1,755,000	△ 180,000	
認定委員会事業費支出	6,615,460	5,815,460	800,000	
会員データ構築事業費支出	210,000	210,000	0	
特別事業費支出	1,000,000	3,000,000	△ 2,000,000	
管理費支出	5,683,500	5,623,500	60,000	
各種委員会費支出	2,800,000	2,650,000	150,000	
学会事務局委託費支出	627,000	627,000	0	
ホームページ運営費支出	61,500	61,500	0	
通信運搬費支出	120,000	140,000	△ 20,000	
事務費支出	175,000	195,000	△ 20,000	
法人運営費支出	1,900,000	1,950,000	△ 50,000	
事業活動支出計	59,885,760	54,715,060	5,170,700	
事業活動収支差額	△ 1,635,160	△ 700,760	△ 934,400	
II 投資活動収支の部				
投資活動収入				
積立金取崩収入	1,500,000	2,000,000	△ 500,000	
会員データ積立金取崩収入	500,000	500,000	0	
特別事業積立金取崩収入	500,000	1,000,000	△ 500,000	
認定委員会積立金取崩収入	500,000	500,000	0	
投資活動収入計	1,500,000	2,000,000	△ 500,000	
投資活動支出				
積立金繰入支出	1,500,000	2,000,000	△ 500,000	
会員データ積立金繰入支出	500,000	500,000	0	
特別事業積立金繰入支出	500,000	1,000,000	△ 500,000	
認定委員会積立金繰入支出	500,000	500,000	0	
投資活動支出計	1,500,000	2,000,000	△ 500,000	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 予備費支出	2,100,000	2,400,000	△ 300,000	
当期収支差額	△ 3,735,160	△ 3,100,760	△ 634,400	
前期繰越収支差額	139,564,828	121,294,601	18,270,227	
次期繰越収支差額	135,829,668	118,193,841	17,635,827	

2022年2月9日

特定非営利活動法人  
日本歯科保存学会  
理事長 石井信之 殿

### 日本歯科保存学会 次期理事長選出に伴う選挙開票結果についての報告書

1. 選挙人(理事および評議員：総数 327 名)に投票用紙を送付。投票期間は 2022 年 1 月 12 日(水)～1 月 31 日(月)とした。なお、投票締切日は 1 月 31 日(当日消印有効)とした。
2. 選挙管理委員会を 2022 年 2 月 9 日(水)に口腔保健協会および Zoom でのハイブリット形式にて開催し、開票作業を行った。  
(出席者 4 名：【会場】佐藤 聡 委員長、平山聡司 委員、【Zoom】海老原新 委員、鈴木茂樹 委員、事務局 2 名)
3. 「役員の構成と選出に関する規程」「理事長選出に関する細則」「理事長選挙内規 1・2」に従い、公正かつ厳正に開票作業を行った。
4. 開票結果は下記の通りである。  
投票総数：265 票(2022 年 1 月 31 日 当日消印有効) (投票率 81.0%)  
有効投票数：261 票  
(結果) ・林美加子 252 票  
          ・その他理事票 9 票  
無効投票数： 4 票

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会  
選挙管理委員会

委員長 佐藤 聡

副委員長 前田 博史

委員 海老原 新

鈴木 茂樹

平山 聡司